

2024年度 事業報告書

2024（令和6）年4月1日

～

2025（令和7）年3月31日

公益社団法人 札幌聴覚障害者協会

〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目1-358

札幌市視聴覚障がい者情報センター内

TEL : 011-642-8010 ・ FAX : 011-642-8377

メール : houjinjimukyoku@sadeaf.jp

【2024年度事業実施報告】

(法人の目的と事業活動)

当法人は、聴覚障害者に対する社会一般の認識を深め、その社会参加を促進するため、聴覚障害者の福祉の増進に関する事業を行ない、もって社会福祉の発展に寄与することを目的とし、定款に掲げる次の事業を実施しました。

- (1) 聴覚障害者の福祉向上に関する事業
- (2) 聴覚障害者の生活相談及び生活支援に関する事業
- (3) 聴覚障害者の社会啓発運動に関する事業
- (4) 聴覚障害者の広報・啓発に関する事業
- (5) 聴覚障害者の福祉の増進のための調査及び研究に関する事業
- (6) 聴覚障害者の文化教養・スポーツに関する事業
- (7) 手話通訳者養成事業
- (8) 手話通訳者派遣事業
- (9) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害者福祉サービス事業
- (10) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域活動支援センター事業
- (11) 介護保険法に基づく地域密着型サービス事業及び地域密着型介護予防サービス事業
- (12) 介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業→デイサービス
「ほほえみ白石」は、2025年1月末日で事業を廃止しました。
- (13) サービス付き高齢者向け住宅事業
- (14) 聴覚障害者の厚生福利及び相互親睦に関する事業
- (15) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(事業面の特徴的なこと)

1. コロナウイルスによる感染は収まっている状況ですが、単発的に感染が発生することもあるため、引き続き全事業所でマスク、手洗いなど感染防止に取り組んでいます。
2. 職員の確保、資質向上、待遇面の改善は全事業を円滑に進めるための大事な取り組みです。
 - ① 人材確保は、事業説明会を開催し確保に努めています。
 - ② 資質向上は職場単位で研修会の開催、全道、全国の研修事業などへの参加、派遣などを通じて向上に努めています。
 - ③ 待遇面は必要に応じて見直しを図っていますが、予算の確保が課題です。
 - ④ 安定運営のための利用者確保も各事業所で努力をしています。

- ⑤ 聴覚障がい者支援センター「ほほえみ後援会」による支援も事業運営の支えになっています。
 - ⑥ 協会の事業全体の安定運営のために1億円規模の運営基金の造成が求められています。
- 3. 聴覚障がい児童分野の事業は、市内にある既存の聴覚障がい児・生徒を対象とする事業所との連携を必要に応じて図っていきます。
 - 4. コロナ禍の減収を乗り切るために借り入れた資金の返済は滞りなくおこなわれています。
 - 5. 会議や研修、行事などで対面とオンラインによる方法が普及、定着しています。デジタル社会の進展に伴い情報通信機器の整備、職員の利用習熟の課題に取り組みながら併用していきます。
 - 6. 詳細な報告は、各事業の報告に委ねます。

(運動面の特徴的なこと)

情報通信機器（スマホ、パソコンなど）の普及、携帯化で情報が簡単に入手できるようになっています。それぞれの事業や運動経過をホームページで確認し、活動や学習に活用していきましょう。

- 1. 一般財団法人全日本ろうあ連盟 <https://www.jfd.or.jp/>
 - ① みんなのデフリンピック、デフスポーツ・サポーター募集、持続可能な開発目標（SDGs）に対する取り組み、聴覚障害者災害救援基金、全国ろうあ者大会、JFDカード普及など運動と私たちの社会的課題への取り組みが掲載されています。
- 2. 公益社団法人北海道ろうあ連盟 <https://hokurouren.jp/>
 - ① 連盟の運動、事業の取り組み（行事案内、手話通訳養成講座、出版・販売、お問い合わせ、手話カレンダー普及など）が掲載されています。
 - ② 聴覚障害者情報センターの取り組み（意思疎通支援、手話を学ぶ、情報を知る、地域を支える）が掲載されています。
- 3. 公益社団法人札幌聴覚障害者協会 <http://sapporo-deaf.jp/>
 - ① 交流、学ぶ、働く、手話通訳、暮らす、知る、の各分野に関する情報（協会について、事業所一覧、手話・字幕入り映像資料の貸出、書籍・グッズ販売、職員募集、アクセス、災害について）が掲載されています。
 - ② ホームページを閲覧された感想やご意見、改善へのご要望をお寄せください。
 - ③ 生活、職場、公共機関などでコミュニケーションの不便な経験をしたこと、きこえないことで困ったことなど改善をしてほしいこと、意見や要望を教えてください。

【公益目的事業】

【公1】手話通訳者派遣・手話普及事業

I 手話通訳者の派遣・認定・研修

手話の普及並びに手話通訳者の認定・登録・更新と、聴覚障害者に対する理解を深め、聴覚障害者ときこえる人の円滑なコミュニケーションを目的とし、依頼に応じて手話通訳者を派遣した。

1. 手話通訳者派遣事業の実施（札幌市委託事業）

ろう者等ときこえる人との意思の疎通を円滑にするため、手話通訳者を必要とする場合に派遣した。

期 間：2024年4月～2025年3月（年間）

場 所：原則として札幌市内

受 付：手話通訳者派遣室

（1）派遣事業の実績及び近況報告 5,019件＋1,820件＝総件数 6,839件

年度	2023年度 4,496件					2024年度 4,679件						
区分	依頼 件数	派遣件数			派遣 時間	依頼 件数	派遣件数			派遣 時間	取り 消し	確保 不可
		計	専通	登通			計	専通	登通			
医療・保健	3,775	3,294	1,434	1,860	4145:29	3,766	3,340	1,384	1,956	4312:42	416	104
(内、介護保険)	473	412	221	191	334:25	583	539	272	267	431:25	32	18
司法	65	67	58	9	84:10	40	44	40	4	45:45	1	0
教育・保育	126	128	61	67	176:30	149	144	58	86	206:10	25	7
労働・雇用	123	118	57	61	144:50	159	148	72	76	185:40	27	17
地域・住宅	45	61	7	54	84:35	69	83	19	64	104:00	3	5
人間関係	8	6	4	2	9:25	25	15	6	9	26:25	10	0
文化・教養	65	114	35	79	287:30	75	168	53	115	409:25	8	2
社会生活	343	332	202	130	431:00	448	402	221	181	544:13	99	33
その他	307	376	372	4	206:40	288	335	330	5	179:15	3	1
(来所者)	272	272	272			276	276	276				
(電話通訳)	348	348	348			310	310	310				
(TV電話)	97	97	97			69	69	69				
(FAX対応他)	127	127	127			130	130	130				
合 計	4,857	4,496	2,230	2,266	5570:09	5,019	4,679	2,183	2,496	6013:35	592	169

※介護保険の内容：認定調査・ケアマネジャーモニタリング・訪問看護・

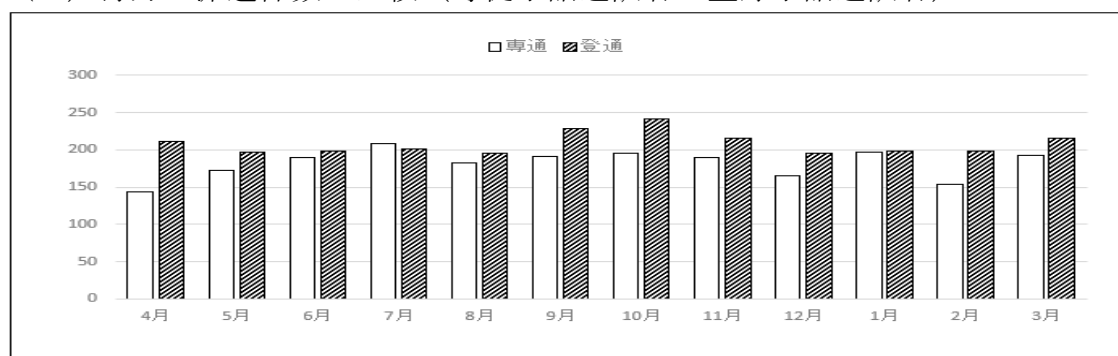
往診・担当会議 他

※「その他」は来所対応が15分を超えた時には、依頼件数に含めている。それ以外は下記の通り。

※別表参照

区分	来所者	電話通訳	TV電話	FAX対応他	合 計
2023年度	532	180	550	645	1,907
2024年度	505	139	617	559	1,820

(2) 毎月の派遣件数の比較（専従手話通訳者&登録手話通訳者）



(3) 札幌市手話通訳者状況報告（2025年3月31日現在）

専従手話通訳者 9名 登録手話通訳者 63名

※資格取得状況（専通・登通含む）

手話通訳士 30名 統一試験（手話通訳者）42名

【手話通訳者養成等運営会議（派遣）】

- (1) コロナ感染症の完全収束は現在も見られず、手話通訳者個々の体調管理に留意し相談しながら対応している。特に2024年度は冬期間の転倒等による長期休養の必要な方が多く、コーディネート調整が大変であった。
- (2) 遠隔手話通訳方式（4年目）は、コロナ感染症のためというよりも、在宅療養を希望する重篤化した患者への対応（訪問診療・訪問看護・ケアマネジャーの訪問）や入院時の患者への通訳保障として利用が多かった。但し、タブレットの角度や画面が平面であるという問題から、通訳者派遣ができる時には現地に派遣して通訳を行った。市内には16ヶ所にコミュニケーション支援システムタブレットの配置、職場のパソコンを利用した遠隔手話通訳の申請も増えている。
- (3) 手話環境にない高齢ろう者の施設への定期派遣時には、管理者とケアマネジャーにご理解をいただき、手話を視る機会を増やすため、当協会映像資料製作したDVDを貸出して、施設内での視聴を可能にしている。
- (4) 司法分野では、刑事訴訟や法律相談等の専門機関への派遣は、継続性がある時には派遣通訳者を固定することもあり、弁護士や司法書士の方には障害の特性や手話言語についての理解や啓発に努めている。
- (5) 電話リレーサービス事業に登録しているろう者は16名（昨年度14名）となり対応しているが、オペレーターの手話技術にも関係して意思疎通に時間を要することもあり、また、「通常の来所時の電話通訳の対応は認められない」と企業側に判断され対応してもらえないことが依然続いている。ろう者が選択できるような方法が望まれる。

- (6) 旧優生保護法裁判は、7月3日最高裁判所大法廷にて「憲法違反」判決により全面勝訴が確定し、全国的な支援の輪の広がりの結果であった。2025年1月17日施行の補償金等支給法が成立し、強制不妊手術の被害者や家族、人工中絶手術等を受けた方を対象に申請が可能となった。また、ろう者の被害者の取材がT V放映されたことにより、相談・問い合わせもあり弁護団と連携して対応している。

2. 手話通訳者認定・登録・更新の実施

(1) 一次試験（手話通訳者全国統一試験）の実施

手話通訳者として必要な知識及び技能を審査するため、筆記及び実技試験の問題・採点基準及び具体的実施方法などについて、全国手話研修センターから提供を受け、手話通訳者全国統一試験を実施した。

期 日：2024年12月7日(土)

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2022年度以前の手話通訳者養成課程修了者、2023年度手話通訳者養成講座受講生修了見込者、2024年度手話通訳者養成講座受講生（再受講生）または、手話通訳者養成課程修了者と同等の知識及び技術を有する者

※合格発表：2025年3月1日(土)

(2) 二次試験（面接試験）

札幌市登録手話通訳者を認定するための面接試験を実施

期 日：2025年3月8日(土)

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2024年度一次試験（手話通訳者全国統一試験）合格者及び手話通訳者全国統一試験又は手話通訳士試験の合格者

＜登録申込状況＞ ※複数有資格者は手話通訳士を優先してカウント (単位：名)

区 分	2024年度合格者	市外より転入	在札有資格者
統一試験	1	0	0
手話通訳士	0	1	1
合 計	1	1	1

＜受験者及び合格者状況＞ (単位：名)

区分	2023年度				区分	2024年度			
	申込者数	受験者数	合格者数	合格率		申込者数	受験者数	合格者数	合格率
2023年度養成講座受講生	1	1	0	0%	2024年度養成講座受講生	9	9	1	1%
2022年度養成講座修了者	13	11	1	9%	2023年度養成講座修了者	3	3	0	0%
2021年度以前養成講座修了者	12	12	5	42%	2022年度以前養成講座修了者	11	11	0	0%
そ の 他	0	0	0	0%	そ の 他	0	0	0	0%
合 計	26	24	6	25%	合 計	23	23	1	4%

(3) 登録手話通訳者状況 (2025年3月31日現在) (単位：名)

年 度	2022	2023	2024
項 目			
登録手話通訳者数	62	63	63
常勤・非常勤の仕事あり	38	39	39
通訳者自身の病気療養（育児・家族の介護）あり	24	23	12
平日の日中活動可能	10	12	12

【手話通訳者養成等運営会議（派遣）】

- (1) 登録手話通訳者63名の稼働状況としては、休止の希望者は月平均15名で推移しており、理由は、仕事・体調・子育て・家庭の事情等であった。約5年間、稼働していない方に、個別面談を実施して現状を確認した。面談を契機に予定表の提出や現任研修会の出席へとなり、数年ぶりに通訳活動となった方もいた。
- (2) 2024年度は札幌市内における路線バスの減便等により、通訳活動にも影響があった。登録手話通訳者への依頼時間・交通手段は個々違い、相談しながら配慮してきたが、通訳者の確保には苦慮した。
- (3) 電話リレーサービス事業を兼務している登録手話通訳者7名については、札幌市派遣事業への協力を優先にせず対応してきた。事業担当と派遣コーディネーター担当間では、毎月定例会議を設けて情報共有した。

3. 札幌市・札幌協手話通訳者現任研修会の開催

2015年度から、札幌市手話通訳者と札幌協手話通訳者合同の現任研修会とし、手話通訳者の資質・技術の向上及び情報交換などを行なうため研修会を開催した。

期 間：2024年4月～2025年3月（全27回） 内訳 市のみ（新登録手話通訳者対象3回）協会のみ（研修4回、自主研3回）を含む。

会 場：市視聴覚障がい者情報センター、市社会福祉総合センター

対象者：札幌市専従手話通訳者・札幌市登録手話通訳者・札幌協登録手話通訳者

講 師：基本的には専通が担当。

研 修 内 容	月 日	出席者数
1) 札幌市・札幌協手話通訳者派遣事業に関する説明会 ◆	2024年 4月1日	47名
2) 手話通訳に必要な現場対応力を考える ◆	5月7日	35名
3) 事例研修①② ◆	6月27日 28日	17名 22名
4) ロールプレイ①②・ロールプレイ&模擬通訳学習 ◆	7月29日 7月30日	7名 21名
5) 登録手話通訳者懇談会 ・札幌市&札幌協理事	9月13日	27名
6) 技術研修 ◇	9月13日	5名
7) 事例研修③④ ◆	9月20日 27日	19名 13名
8) 健康学習会 講師：大阪社会医学研究所顧問 重田博正氏	11月8日	20名

9) ロールプレイ③④・ロールプレイ&模擬通訳学習 ◆	11月27日 29日	7名 19名
10) 手話通訳技術①② …聞き取り・読み取り技術 ◆	1月9日 10日	5名 10名
11) 司法研修① ※一般公開 「刑事弁護の最前線から語る」～傍聴席が変わる話/司法通訳 事情/刑事弁護物語/トクリュウ犯罪等～ 講師：甲南大学名誉教授 渡辺顥修氏 ◇	1月25日	40名
12) 司法研修② ※手話通訳者のみ対象（道内専通含む） ◇ 専門研修1 弁護士を囲んで 講師：弁護士 板原愛氏（東京） 専門研修2 通訳実技 講師：甲南大学名誉教授 渡辺顥修氏 専門研修3 司法に於けるコーディネート業務担当より報告	1月26日	18名
13) 専従手話通訳者による出張報告 ◆	中止	
14) 講演「コミュニケーション力を高めよう～より良いコミュニ ケーターをめざして～」 ※一般公開 講師：豊橋技術科学大学名誉教授 加藤三保子氏 ◇	3月1日	47名
15) 「2023年度 統一試験に挑戦しよう！」 ◆	3月24日昼 3月24日夜	18名 41名

※（枠内、◆合同（市・札幌協）対象の研修、◇札幌協のみ対象の研修）

2024年度 コミュニケーション支援課 出張一覧

研 修 内 容	人 数	月 日
1) 2024年度 意思疎通支援担当者研修会 富山県 第1ブロック 意思疎通支援担当者研修委員 1名 + 1名		7月25～26日
2) 聴覚障害者の精神保健福祉を考える研修会2024 17日 Zoom 1名 18日 東京 1名		8月17～18日
3) 第57回全国手話通訳問題研究集会 ～サマーフォーラムinかごしま～ 希望者なし		8月23～25日
4) 第50回全道ろうあ者相談員・第47回全道専任手話通訳者 「手話言語条例制度の広がり」と高齢ろう者の生きづらさを考える」 レポート提出 1名 他 6名		10月10～11日
5) 2024年度手話奉仕員・手話通訳者養成担当リーダー研修会【北海道】 手話通訳者課程 2名		2月24日

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

- （1）2024年度の現任研修会は、ほぼ年間計画通り実施したが、2月「出張報告」は派遣事業の実態から中止とした。5月は「手話通訳に必要な現場対応力を考える」全体研修にて2024年度の派遣事業を通しての気づきも含めて研修を深めることを重視している。他には「事例研修・ロールプレイ」は参加型研修と位置付けており重要である。当協会会員やろうあ者相談員等の協力も得て対応している。
- （2）市登録手話通訳者懇談会は、市側と直接に通訳現場でのろう者の暮らしを話し合う場として位置付けているが、参加者は72名中20名であり少なかった。意見等については市担当と相談しつつ継続して対応している。社会情勢を捉え、制度等の動きを活かして稼働できることが課題である。
- （3）健康学習会は、札幌協電話リレーサービス事業担当と連携し、大阪社会医学研究所顧問重田博正氏を講師にお招きして開催した。会場には札幌

協理事や協会登録手話通訳者も出席を認め、共に健康について学習することができた。

4. 札幌市登録手話通訳者認定証授与式他・新登録手話通訳者研修会の開催

登録手話通訳者認定証授与式、後日、オリエンテーションを開催して札幌市登録手話通訳者派遣事業実施要綱や派遣事業におけるコーディネート業務の内容、事務処理等について、配付資料を基にして説明を実施した。

新人研修会も、コロナ禍前同様、「報告書の書き方」「模擬通訳」「通訳経験交流」の3回とも実施した。

期 間：2024年4月～2024年5月

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2024年度札幌市登録手話通訳者に認定された者

(1) 新登録手話通訳者状況

区 分	2023年度 一次試験合格者	市外より転入	有 資 格 者	合 計
新登録者数	6名	0名	0名	6名

(2) 研修会等の内容及び日程

研修内容	月 日
認定証授与式 / 札幌市・札幌協手話通訳者派遣事業説明会	4月1日
研修会 1) 新登通オリエンテーション 「報告書の書き方」…通訳行為の振り返り等の確認と意見交換	4月9日
研修会 2) 「模擬通訳」	4月15日
研修会 3) 「通訳経験交流」	5月24日

(3) 手話通訳者状況報告 (2025年3月31日現在) (単位：名)

	2022年度	2023年度	2024年度
専従手話通訳者	9	9	9
登録手話通訳者	62	63	63
(内、当該年度養成講座修了者)	(2)	(1)	(1)

5. 札幌市手話通訳者の頸肩腕症候群等を防止する健診の実施

期 間：2024年4月～9月／2025年2月

場 所：札幌ワーカーズクリニック

対象者：登録手話通訳者(1回)・専従手話通訳者(年2回)

(1) 登録手話通訳者受診状況

健診対象者	63名	受診者数	56名	受診しない数	7名
-------	-----	------	-----	--------	----

※内、他で受診13名(電話リレー11名、北ろう連1名、市立病院1名)

(2) 登録手話通訳者診断結果

A (異常なし)	16名	C (要休業)	1名
B 1 (要注意)	36名		
B 2 (要業務軽減)	3名		

(3) 専従手話通訳者診断結果 (9月・9名・2月・9名)

	9月	2月		9月	2月
A (異常なし)	3名	1名	C (要休業)	0名	0名
B 1 (要注意)	6名	8名			
B 2 (要業務軽減)	0名	0名			

【手話通訳者養成等運営会議 (派遣)】

- (1) 登録手話通訳者の特殊健康診断結果は、全体的に改善傾向 (A 16名中5名) にあり、落ち着いている。札幌ワーカーズクリニックは受診期間の制限があり、勤務や都合により調整困難な方が7名となった。専従手話通訳者については、1日の派遣件数が2～3件の日もあり、A (異常なし) 判定は1名であった。2022年度以降、健診結果後の医師との面談ができておらず工夫が必要である。
- (2) コーディネート業務は、申請内容を把握してろう者の理解力等を配慮して派遣通訳者を決定している。通訳現場ではろう者への配慮がされず、社会資源も十分ではない。日々派遣の実態を整理しつつ、関係機関との連携を図り、登録手話通訳者が安心して稼働できるようにアドバイスが求められている。

6. 医療手話通訳者派遣事業の実施 (勤医協札幌病院委託事業)

専任手話通訳者を勤医協札幌病院へ派遣し、外来診察及び入院治療等を受けているろう患者と、医師及び看護師・院内スタッフとのコミュニケーションの円滑化のため手話通訳業務を行なった。

期 間：2024年4月～2025年3月 (年間)

業務時間：月・火・水・木・金 9時～12時30分、13時30分～15時

場 所：勤医協札幌病院

手話通訳者：専任手話通訳者3名 (1月まで2名) ・代替手話通訳者9名

(1) 実績及び状況報告

① 来院者数及び住居区数 (月別) (延べ人数)

(単位：名)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来院実数	64	59	70	69	62	51	79	100	79	82	62	63	819
白石区	11	9	11	17	12	14	12	15	16	10	8	7	142
厚別区	7	8	4	10	7	6	7	12	5	5	9	7	87
東区	18	19	10	20	17	8	21	22	18	24	18	14	209
豊平区	15	8	6	8	8	8	13	28	27	26	7	4	158
北区	6	4	11	6	5	3	11	16	6	10	16	25	119
西区	1	2	3	0	3	7	3	3	5	4	1	2	34
南区	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	2	5
中央区	0	4	1	1	2	1	3	1	0	0	0	0	13
手稲区	2	1	0	1	1	2	1	0	1	0	2	0	11
清田区	0	1	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	5
札幌市外	4	3	3	5	5	1	7	1	0	3	1	2	36

② 患者及び新患者の状況（実人数）

（単位：名）

患 者 数	44	44	34	48	44	39	47	58	43	49	43	31	524
内、新患者数	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	4

③ 来院者数状況（年間）

（単位：名）

区分	2023年度			2024年度		
	来院者数	(内、来院患者数)	(内、新患者数)	来院者数	(内、来院患者数)	(内、新患者数)
通訳件数	584	577	7	524	520	4

④ 年代及び性別の状況

（単位：名）

区分	19才以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80才以上	非該当	合計
男性	0	1	4	12	24	51	134	114		340
女性	0	0	1	23	70	80	219	68		461
非該当									18	18
合計	0	1	5	35	94	131	353	182	18	819

⑤ 来院者の受診科別状況（年間）

（単位：件）

受 診 科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	30	32	21	35	25	22	41	28	38	28	27	15	342
整形外科	6	7	6	10	6	5	6	6	6	4	6	5	73
耳 鼻 科	2	4	2	4	2	5	5	2	2	2	2	6	38
産婦人科	3	0	4	1	2	1	2	2	2	2	3	1	23
小 児 科	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	3
眼 科	18	16	13	18	14	9	22	18	13	13	17	13	184
外 科	3	1	1	3	2	1	6	3	0	1	1	2	24
健 診	1	6	4	4	13	8	10	14	6	7	5	3	87
検 査	1	2	4	3	1	3	5	8	6	1	2	1	37
手 術	0	0	0	0	2	0	0	2	0	4	0	0	8
ワクチン	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4
病 棟	0	0	0	2	4	0	0	29	20	33	12	22	122
窓 口	3	2	2	2	6	2	4	7	2	2	1	5	38
電話通訳	1	0	0	1	2	1	0	0	0	0	2	2	9
他	1	2	0	0	4	3	5	6	1	4	1	0	27
メ ー ル	4	2	5	8	3	4	13	10	16	2	0	4	70
F A X	11	4	6	5	1	9	5	10	8	4	3	2	68
電話対応	1	4	2	2	0	2	6	7	9	1	3	1	38
T V電話	0	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	4
合 計	85	83	70	98	87	77	131	156	131	109	85	82	1200

※地域健康課による患者のSVS（社会的バイタルサイン＝生活状況や緊急時の連絡先等）シート作成の為に手話通訳の協力をした。

⑥ 入院患者数及び受診科別状況（年間）

（単位：件）

区分	入院患者数	通訳件数				
		手術	病棟	病棟外診察	その他	合計
2023年度	2	2	13	1	2	18
2024年度	7	8	122	16	27	173

※入居先施設決定まで長期の入院患者が複数いたことで件数が大幅に増えた。

※白内障手術の患者が多かった(4名)。

（２）体制

勤医協札幌病院と札幌聴覚障害者協会との協議の結果、平日の体制強化のため、4月1日から土曜日の手話通訳者配置を断念した。

・4月～1月

	月	火	水	木	金
A	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00
B	9:00～12:30	休	休	9:00～15:00	9:00～15:00

・2月～3月

	月	火	水	木	金
A	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～11:30	9:00～15:00
B	9:00～12:30	休	休	9:00～15:00	9:00～15:00
C	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	休

*Cは、週4日の勤務条件の為、週によっては公休が変わることもある。

① 2月1日から専任手話通訳者1名欠員補充（デイサービスほほえみ白石から異動）

② 2月までは専任手話通訳者が1名体制の時間帯があり、代替手話通訳者の協力が必要だった。そのため依頼する件数が多かった。
（依頼件数→120件 依頼総時間数→342時間）

③ 代替手話通訳者の協力により、専任手話通訳者の有休や時間調整の取得が可能になった。

④ 代替手話通訳者は9名。

仕事や他の活動・家庭の事情で稼働できる人は限られていた。

その他

① 新入職員オリエンテーション（4月4日）→ 西澤

② 勤医協札幌病院との懇談（4月18日, 7月18日, 10月17日, 1月16日）→ 笹森

③ 聴覚障害者の精神保健福祉を考える研修会 ZOOM（8月17日）→ 西澤

④ 全道ろうあ者相談員・専任手話通訳者研修会（10月10～11日）→ 西澤

⑤ 札幌聴覚障害者との事務局会議（9月12日）ZOOM(1月27日) →西澤・笹森
（3月10日）→西澤・笹森・村上

⑥ パソコン入れ替え 1台（1月24日）

7. 札幌聴覚障害者協会手話通訳者派遣事業の実施（独自事業）

札幌市手話通訳者派遣事業実施要綱に適用しない行政、企業、司法機関、団体等からの依頼に基づき、手話通訳者を派遣した。

期 間：2024年4月～2025年3月（年間）

場 所：札幌市内及び近郊

受 付：手話通訳者派遣室

(1) 派遣事業の実績及び近況報告

年度 区分	2023年度					2024年度						
	依頼 件数	派遣件数			派遣 時間	依頼 件数	派遣件数			派遣 時間	取 り 消 し	確 保 不 可
		計	専通	登通			計	専通	登通			
企 業	29	33	21	12	54:20	27	43	19	24	100:20	4	0
司 法	69	116	100	16	241:30	9	13	13	0	20:50	2	0
内 弁護士	16	15	15	0	13:05	2	2	2	0	2:00	0	0
内 警察署	24	52	37	15	144:10	2	4	4	0	10:35	1	0
内 検察庁	19	32	31	1	58:15	3	3	3	0	4:25	1	0
内 裁判所	10	17	17	0	26:00	2	4	4	0	3:50	0	0
内 刑務所	0	0	0	0	0:00	0	0	0	0	0:00	0	0
各種集会関係	121	210	63	147	522:10	130	238	77	161	583:20	14	0
内 社会生活教室	23	46	2	44	102:30	27	54	3	51	124:05	0	0
大 学	0	0	0	0	0:00	2	2	2	0	1:00	0	0
組 合	31	56	12	44	141:15	35	67	20	47	169:20	0	1
政 党	7	12	5	7	14:35	12	21	9	12	27:50	0	0
放 送 局	40	69	62	7	85:05	38	67	63	4	103:10	0	0
そ の 他	69	93	76	17	123:20	25	28	7	21	53:00	1	0
合 計	366	589	339	250	1,182:15	278	479	210	269	1,058:50	21	1

(2) 派遣分野の状況報告

- ①2024年度は司法分野の申請が激減、2023年度と比較して約88%減の派遣数となる。収入額減となったが、司法分野（刑事訴訟）の申請は少ない方が好ましい状態ではある。
- ②成人の日行事は、2023年度に引き続き、通訳予算を組んで全区に派遣となった（一区のみ2部制、11名派遣）。
- ③2024年10月に衆議院議員選挙があり、政党からの派遣申請が増加。選挙期間中は手話通訳者の運動員登録が必要となってくるため、派遣する手話通訳者が限定される。投票日直前は派遣申請が重複し通訳者確保が難航した。
- ④市長記者会見は定例20回、臨時1回であり、2023年度と比較して計2回減少。2024年度は会見室の改修工事があり、2025年度から収録、配信方法が見直され実施される。同時に音声や背景色等通訳環境の条件整備についても改善される結果となった。但し、事後収録の動画作成はない。
- ⑤全国・全道規模の大会、集会の開催が増加。オンライン・リモート併用が多く映像が残るため、通訳者確保が難しく、専従手話通訳者の派遣が多くなり課題である。
- ⑥東京2025デフリンピック開催に伴い、2024年度後半は関連した集会やイベントが開催されている（全日本ろうあ連盟・札幌市スポーツ協会）。
- ⑦新規依頼として、HBCで強制不妊手術被害者補償申請についてのVTR編集・生放送での通訳。STVの年間契約以外での派遣申請(計2回)。特集VTRの映像収録・編集。他報道機関より映像(ドキュメンタリー番組)の通訳。他にイベント(講演・ワークショップ)等があった。

(3) 手話通訳者状況報告 (2025年3月31日現在) (単位: 名)

	2022年度	2023年度	2024年度
専従手話通訳者	9	9	9
登録手話通訳者	90	93	102
(内、市登録手話通訳者)	(53)	(63)	(63)
(内、当該年度養成講座修了者)	(3)	(5)	(2)

8. 札幌聴覚障害者協会手話通訳者現任研修会の開催

市手話通訳者と札幌協手話通訳者合同現任研修会（2015年度開始）とし、手話通訳者の資質・技術の向上及び情報交換等を行なうため開催した。

期 間：2024年4月～2025年3月（年間22回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：札幌聴覚障害者協会登録手話通訳者

（札幌市派遣事業と合同の現任研修は『公1』手話通訳者派遣・手話普及事業に記載）

研修内容	月 日	出席者数	
		登通	専通
1) 技術研修 ・・場面通訳	9月13日	4名	1名
2) 司法研修① 「刑事弁護の最前線から語る」～傍聴席が変わる話/司法 通訳事情/刑事弁護物語/トクリュウ犯罪等～ 講師：甲南大学名誉教授 渡辺顥修氏	2025年 1月25日	36名	4名
3) 司法研修② 専門研修1 弁護士を囲んで 講師 弁護士 板原愛氏 専門研修2 通訳実技 講師甲南大学名誉教授 渡辺顥修氏 専門研修3 司法に於けるコーディネート業務担当報告	1月26日	14名	4名
4) 講演「コミュニケーション力を高めよう ～より良いコミュニケーションをめざして～」 講師：豊橋技術科学大学 名誉教授 加藤三保子氏	3月1日	43名	4名

（自主研修のため出欠連絡、交通費の支給はない）

手話通訳者会議（自主）	月 日	出席者数	
		登通	専通
1) 通訳場面 医療・教育	5月31日	6名	2名
2) 通訳場面 労働・社会生活	10月11日	1名	3名
3) 通訳場面 講演会・式典	2月3日	8名	2名

(1) 手話通訳者会議

手話通訳者会議（自主研修）は、通訳経験の有無に関わらず自由参加型としている。現場で困ったことや不安を持ち寄り、率直に意見交換や情報共有等を目的として年3回実施している。

(2) 司法場面における手話通訳者研修

司法研修は事前にリモート会議にて打ち合わせを行い、一般公開はハイブリット形式による講演として、道外及び道内の専任手話通訳者の出席が振興局全員であったが、自治体は少なく残念であった。2日目は手話通訳者のみ対象として専門研修であり、午前は弁護士（道外）がZoomを活用し、午後は、対面で弁護士2名と当協会3名の協力をいただき実技研修をした。後半は、初企画として『司法場面の振り返り』をコーディネート担当より、

司法通訳の実態や課題について情報共有を行った。

(3) 手話言語に係る専門研修会

2024年度は、今後、多様で円滑なコミュニケーションを実現するための読解力強化や異文化間リテラシーの重要性について講演を実施した。日本語や文化の特徴等、新たな視点の学習をした。

Ⅱ 手話通訳者養成講座の開催

1. 2024年度手話通訳者養成事業の開催

手話による日常会話が可能な手話技術を有する市民を対象に、通訳技術の習得及びろう者とのコミュニケーションを図り円滑な社会生活に寄与するため必要な知識の習得を目的に、ろう者に対する理解を深め手話通訳者を目指す者を養成する講座を開催した。

修了条件には含めないが、特別講座(2回)、『突破!統一試験学習会』(4回)を、手話通訳者全国統一試験(一次試験)対策として受講を勧めた。受講生の指導方法や状況については、講師節会議で確認・情報共有しながら進めている。

期 間：2023年度クラス2年目 2024年4月3日～11月20日(35回)

2024年度クラス1年目 2024年5月15日～2025年3月26日(48回)

回 数：実技72回(内通訳Ⅰ課程32回 通訳Ⅱ課程30回 通訳Ⅲ課程10回)

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

(1) 定員・受講者及び修了者の状況 (単位：名)

	定員	応募者数	受講者数	修了者数	修了率
2021年度	15	13	8	4	50%
2022年度	15	22	15	11	73.3%
2023年度	15	17	13	9	69.2%
2024年度	15	29	17	継続中	継続中

(2) 2023年度クラス(2023～2024年度・2年目)

①通訳Ⅱ課程

月 日	内 容
4月3日～4月17日	第11～13講座 聞き取り通訳
4月24日～5月22日・5月29日～6月12日・6月19日～7月31日	第14～27講座 場面通訳・事例検討
8月7日～8月28日	第28～30講座 ロールプレイ

②通訳Ⅲ課程

月 日	内 容
9月4日	第1講座 通訳のやり方・あり方を考えよう
9月11日～10月2日	第2～4講座 事例検討とロールプレイ
10月9日～11月13日	第5～10講座 手話通訳実習1～6

③理論講義 4回

月 日	講義内容	講 師
4月19日	手話通訳の理念と仕事Ⅱ	渋谷 梯子（専従手話通訳者）
6月14日	聴覚障害児の言語発達とろう教育	宮町 悦信氏 (北海道立特別支援教育センター)
8月2日	手話通訳者登録制度の概要	渋谷 雄幸 (札幌聴覚障害者協会理事長)
9月25日	手話通訳者の健康管理	佐藤 修二 氏 (札幌ワーカーズクリニック院長)

④2023年度修了時アンケート結果

- ・毎年、受講生にとって「事例検討」と「ロールプレイ」は理解が難しく、今年も「もっと時間が欲しかった」「理解するまで時間がかかった」と意見があった。講師側もさらなる指導内容の咀嚼と工夫が必要となる。
- ・実技講座の導入前には、読み取り力向上を目的として、ろう講師による手話スピーチから内容について質問する時間も取り入れたが、十分な効果は見られなかった。
- ・課題としては、ろう者との交流や関りが少ないことであり、今後も協会行事の参加、手話サークル・通研への入会及び活動、集団に属することの必要性を講座の中で講師が引き続き伝えていく。

(3) 2024年度クラス (2024～2025年度・1年目)

①通訳Ⅰ課程

月 日	内 容
5月15日～6月26日	第1～7講座 基本文法の復習
7月3日	第8講座 手話通訳の現場から学ぼう
7月10日～7月31日	第9～12講座 身近な場面通訳
8月7日～8月30日	第13～16講座 要約
9月4日～10月9日	第17～21講座 読み取り通訳
10月23日～10月30日	第22～23講座 手話を見て要約
11月1日～11月27日	第24～28講座 聞き取り通訳
12月4日～2025年1月15日	第29～32講座 場面通訳

②通訳Ⅱ課程

1月22日～1月29日	第1～2講座 話を聞いて要約
2月5日～2月19日	第3～5講座 手話を見て要約
2月26日・3月5日～3月19日	第6～9講座 読み取り通訳
3月26日	第10講座 聞き取り通訳

③理論講義 6回

月 日	講義内容	講 師
7月5日	身体障害者福祉概論	森岡 祥広 氏 (市障がい福祉課在宅福祉係長)
9月11日	手話通訳の心構え	山田 幸雄 (専従手話通訳者)

10月16日	ソーシャルワーク概論	田村 里子 氏 (WITH医療福祉実践研究所)
12月18日	手話通訳の理念と仕事Ⅰ	川口 裕美 (専従手話通訳者)
2025年 1月31日	ことばの仕組み(手話)	川口 聖 氏 (全国手話研修センター紹介)
2月28日	ことばの仕組み	加藤 三保子 氏 (豊橋技術科学大学)

④2024年度開講時アンケートより

- ・2024年度受講生は、ろう者と接点のある方が多く、手話を日常的に使用する時間が長い方が多い。ただし、日聴紙及び札幌聴障の未購読者は17名中14名と多く、ろう者との交流だけではなく、情報収集や知識を増やす・深めることの必要性も伝えていく。
- ・札幌協行事への参加経験者も多いので、今後は札幌研や札幌協賛助会員等団体に所属(入会)することの情報周知も行っていく。
- ・手話がスムーズに表現できるだけではなく、「手話通訳と手話で会話ができる違い」についての理解が不足している受講生も見られ、今後の講座の中で手話通訳者の役割を考える、理解を深めることも課題となった。

2. 手話通訳者養成講座の講師に対する研修及び会議等の実施

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

(1) 2023年度クラス(2023～2024年度・2年目)

手話通訳者養成講座の講師に対する研修及び会議等の実施

①節会議・評価会議・反省会

区分	節会議	評価会議	反省会
通訳Ⅱ課程	4月12日	中止	9月27日
通訳Ⅲ課程	8月9日	12月12日	

(2) 2024年度クラス(2024～2025年度・1年目)

①4月5日(金) 事業説明会・選抜試験打ち合わせ会

②4月10日(水) 受講者選考試験・面接試験(一日目・昼間)※

4月11日(木) 受講者選考試験・面接試験(二日目・夜間)

4月12日(金) 受講者選考試験・面接試験(三日目・昼間)

※通常二日間の予定だが、1名仕事の都合で、急遽日程を別途設けて対応した。

③7月23日(火) 講師研修会「指導のポイント①」

④10月29日(火) 講師研修会「指導のポイント②」

⑤節会議・評価会議・反省会

区分	節会議	評価会議	反省会
通訳Ⅰ課程	① 4月26日 ② 8月23日	2025年1月9日※	2025年2月13日
通訳Ⅱ課程	2025年1月9日※		—

※通訳Ⅰ課程評価会議後に引き続き通訳Ⅱ課程節会議を実施。

【手話通訳者養成講座講師団】

- ・ろう講師は札幌協、きこえる講師は札幌研が推薦する者または専通が担当し、調整している。

【養成講座講師】 ※一部、年度当初より変更あり

	通訳Ⅰ		通訳Ⅱ		通訳Ⅲ	
	ろう講師	きこえる講師	ろう講師	きこえる講師	ろう講師	きこえる講師
2023年度	越智 誠 河村明子 佐藤裕介 福島太郎 渋谷雄幸 若浜ひろ子	樋口あやこ 渡辺聡子 川口裕美 佐藤有香 渋谷梯子 山田幸雄	越智 誠 京野大樹 佐藤裕介 福島太郎 渋谷雄幸 若浜ひろ子	樋口道雄 渡辺聡子 佐藤有香 渋谷梯子 山田幸雄	佐藤裕介 京野大樹 高嶋正博 野口和伸 渋谷雄幸 若浜ひろ子	樋口道雄 佐藤有香 渋谷梯子 菅原美樹
2024年度	越智 誠 河村明子 佐藤裕介 福島太郎 渋谷雄幸 若浜ひろ子	樋口あやこ 渡辺聡子 川口裕美 佐藤有香 渋谷梯子 山田幸雄	京野大樹 佐藤裕介 福島太郎 渋谷雄幸 若浜ひろ子	樋口道雄 渡辺聡子 佐藤有香 渋谷梯子 山田幸雄	工藤 努 野口和伸 渋谷雄幸 若浜ひろ子	樋口道雄 佐藤有香 渋谷梯子 菅原美樹

- ・講師研修の場としては、講師団では年2回の他、外部研修として、全国手話研修センター主催の情報は随時周知しており、2024年度手話奉仕員・養成担当講師リーダー養成研修会【北海道】（ウェブ研修+zoom研修）には、きこえる講師2名を出張とし、今後の講師研修会にて報告・情報共有を行う。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

- （1）感染症対策が必要時には情報センターのインターネット環境が課題だったが、現在は対面講座が問題なく実施できているため保留となっている。
- （2）2023年度（2年生）は定員を下回る受講生でスタート、転居や仕事等のために辞退及び長期欠席者もあり人数は減ったが、提出物等の課題に最後まで取り組み熱心に受講をしている。通訳Ⅲの実習では、初めて会うろう者の読み取りに苦戦し、日本語力向上の必要性も感じた意見があった。全体的に、ろう者の手話を読み取る力が弱い点が課題であり、読み取り通訳の指導に工夫をしてくれているが、講座内だけでは限界がある。
- （3）受講生の募集には、毎年、札幌協登録手話通訳者（無資格）にも呼びかけを行っているが、なかなか申し込みに結び付いていない現状がある。全国手話通訳者統一試験の合格を目指し挑戦の促しを継続する。

3. 「2024年度札幌市登録手話通訳者認定試験学習会」の開催(独自事業)

手話通訳者全国統一試験に挑戦する受験者のために要約及び場面通訳に絞って学習会を開催した。2024年度は、札幌開催分を1日減、北海道ろうあ連盟から共催は昨年度と同じく1回（昼・夜の二部制）として実施した。

期 間：9月3日（火） 10月1日（火） 10月18日（金） 11月23日（土）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：受験者及び受験を考えている者

結 果：9月3日 8名 10月1日 12名 10月18日 32名 11月23日 13名

内 容：試験科目を考慮して、翻訳（手話表現・読み取り）技術、場面通訳等に絞って実施した。

Ⅲ 手話奉仕員養成講座の開催

聴覚障害者に対する理解を深め、手話の普及並びに手話奉仕員を目指す者を養成した。

1. 手話講習会（入門）事業（札幌市委託事業）

（1）2024年度札幌市手話講習会の開催

聴覚障害者に対する理解を深めることと、手話で初歩的な日常会話ができることを目的とした講習を、札幌市内10区11会場にて開催した（中央区は2会場）。

期 間：2024年5月13日（月）～12月2日（月）（24回）

①定員・受講者及び修了者の状況

（単位：名）

	中央A	中央B	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
定 員	35	40	40	45	40	30	35	30	40	40	35	410
申込数	84	41	84	78	64	43	28	28	37	57	58	602
受講決定	35	40	40	45	40	30	35	30	40	40	35	410
修了者	23	31	17	29	20	21	24	24	29	29	25	272
		定員		応募者数		受講者数		修了者数		修了率		
2023年度(対面)		420		755		417		323		77.4%		
2024年度(対面)		410		602		410		272		66.3%		

②実技（21回）（毎週月曜日）

5月13日	開講式 第1講座 表現基礎演習
5月20, 27日・6月3, 10, 24日・ 7月1, 8, 22, 29日	第2～9講座 手話との出会い
7月22日	第9講座 まとめ1 ～疑問詞と指文字の復習～
7月29日	第10講座 まとめ2 ～自己紹介～
8月5, 26・9月2, 9, 30日・10月21, 28日・ 11月11, 18, 25日（※8月19, 26日・9月2日 のうち1回は理論講義（出前））	第10～19講座 語彙を増やそう
11月25日	第20講座 総まとめ

③理論講義（合同・出前・各区）（3回）

・6月17日（月）「聴覚障害の基礎知識」

かでの2.7 1階 かでのアスビックホール

講師 若浜ひろ子氏（札幌協理事）

・8月19日（月）中央区・豊平区・手稲区会場

8月26日（月）北区・厚別区・南区会場

9月 2日（月）東区・白石区・清田区・西区会場

「手話の基礎知識」

中央区A会場	講師	京野大樹 氏	（札幌協常務理事兼事務局長）
中央区B・西区会場	講師	高嶋正博 氏	（札幌協副理事長）
北区会場	講師	宮内博子 氏	（札幌協理事）
東区・南区会場	講師	佐藤正昭 氏	（札幌協理事）
白石区・厚別区会場	講師	金原浩之 氏	（札幌協理事）
豊平区会場	講師	中 和彦 氏	（札幌協副理事長）
清田区・手稲区会場	講師	越智 誠 氏	（札幌協理事）

④修了式 12月2日(月) かでる2.7 1階 かでるアスビックホール

(2) 手話講習会の講師・補助講師に対する研修及び会議等の実施

- ① 4月 8日(月) 事業説明会 市社会福祉総合センター
- ② 4月 8日(月) 合同講師補助講師研修会 市社会福祉総合センター
「手話奉仕員のテキスト概要と指導ポイント」 講師 若浜ひろ子氏(札幌協理事)
- ③ 4月22日(月) 各区講師補助講師打ち合わせ 各区会場
- ④ 7月12日(金) 講師補助講師節会議 市視聴覚障がい者情報センター
- ⑤10月 4日(金) 講師補助講師節会議② 市視聴覚障がい者情報センター
- ⑥12月 9日(月) 各区講師補助講師反省会 各区会場
- ⑦1月20日(月) 全体講師補助講師反省会 市社会福祉総合センター

【手話講習会 講師団】

中央区A	中央区B	北区	東区	白石区	厚別区
福岡 静枝 太田 孝治 竹内 昌子 鍛冶 由佳子 向井 雅子 佐々木麻衣子 幸村 咲	京野 大樹 若浜 ひろ子 渋谷 弟子 太田 利実 中村 雅子 清原 麻美 佐藤 圭祐	長谷 真里 長谷 和明 角尾 美幸 越智 誠 中 和彦 荒木 奈美 佐藤 清美 松井 宏幸	河野 仁志 森 恵子 河村 明子 荒井 友理 村上 麻里 坂本 光 山下 弥生 田向 美代子	佐藤 喜美恵 東出 昇 東出 理恵 仲田 成沙 久保田 昭人 前田 静子 菅原 美樹	小川 達巳 佐藤 裕介 岩崎 剛 橋本 澄子 土居 有希子 沖田 真紀子 江部 かおり 菅原 順子
豊平区	清田区	南区	西区	手稲区	
高村 秀 佐藤 正昭 竹田 聖也 石若 美樹 大泉 和歌子 外山 悦子	高嶋 正博 高嶋 裕子 石川 幸一 鎌田 育美 小林 昌代 藤波 貞子 木山 夕子 高橋 順子	齋藤 協子 宮内 博子 川口 裕美 清川 純子 大出 めぐみ 川畑 孝夫 三津橋 広美 中村 博子	金原 浩之 金原 淳子 福島 紫 田中 志津 宮本 眞知子 宮本 ゆかり 杉山 恭子 助森 綾	新田 由香 泉 隆行 樋口 あやこ 樋口 道雄 鈴木 道子 杉本 亜沙子 高川 さとみ 渡辺 菜穂子	

(3) 手話講習会プレ体験会の開催(全8回)

落選者を対象として、回数を増やし開催(2023年度は4回)。

- ・会 場 市視聴覚障がい者情報センター・市社会福祉総合センター
- ・日程及び講師

- ①6月21日(金)
講師 渋谷雄幸氏(札幌協理事長)・渋谷弟子氏(コミュニケーション支援課長)
- ②7月11日(木)
講師 越智 誠氏(札幌協理事)・渋谷弟子氏(コミュニケーション支援課長)
- ③8月7日(水)
講師 若浜ひろ子氏(札幌協理事)・渋谷弟子氏(コミュニケーション支援課長)
- ④9月25日(水)
講師 福島太郎氏(札幌協監事)・佐藤有香氏(コミュニケーション支援課養成事業係長)
- ⑤10月25日(金)
講師 佐藤正昭氏(札幌協理事)・渋谷弟子氏(コミュニケーション支援課長)
- ⑥11月22日(金)
講師 仲田成沙氏(厚別区ろうあ者相談員)・渋谷弟子氏(コミュニケーション支援課長)
- ⑦12月10日(火)
講師 京野大樹氏(札幌協常務理事兼事務局長)・渋谷弟子氏(コミュニケーション支援課長)
- ⑧1月23日(木)
講師 渋谷雄幸氏(札幌協理事長)・渋谷弟子氏(コミュニケーション支援課長)

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

- (1) 若年層の申込者や将来通訳者をを目指す人材を確保するため、申込動機の質問項目を増やしたが、うまく抽選には生かすことが難しかった。人材や時期的に業務量が集中して増えることもあり、対応に結び付けられないことは今後の課題としたい。
- (2) 応募者多数のため、市の要望もあり、落選者対応の手話講習会プレ体験会の実施は3年目となり、2024年度は手話講習会だけでなく、中級手話講習会落選者及び手話通訳者養成講座不合格者も対象とすることとなった。実施回数も、6月～2025年1月まで月1回、計8回に増。ろう講師による理論講義と、専通による手話実技の講座を行い、アンケートも回収した。アンケートからは、実技だけでなく、ろう講師の体験や講義が、今まで知らない事ばかりでとても興味深く、もっと聞きたいという意見もみられ、今後もこのような形での実施を継続していきたい。
- (3) 2024年度より、手話奉仕員テキスト全面改訂版を使用することで、講師の指導も変わり、育成講座を受講しても、初めての方法に戸惑ったとの意見も聞かれている。そのため、2024年度手話講師育成講座でも、引き続き、入門課程のカリキュラムも導入し、今後も指導力向上のため、育成講座の受講をすすめるが、講師不足の解消は早急には難しい。
- (4) 修了式は、コロナ禍前のように、修了者全員の名前を読み上げる形式で実施することが出来た。修了生代表の登壇や壇上の並び方等、戸惑う場面もあったが、修了生の手話スピーチ内容も素晴らしく好評であった。

2. 中級手話講習会（基礎）事業

(1) 2024年度札幌市中級手話講習会の開催（札幌市委託事業）

手話で日常会話を行なうのに必要な手話語彙及び手話表現技術を習得し、聴覚障害、聴覚障害者の生活及び関連する福祉制度などについての理解と認識を深め、地域で活動する人材の育成を図るための講習を開催した。

期 間：2024年5月16日（木）～2024年11月14日（木）（26回）

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

①定員・受講者及び修了者の状況

（単位：名）

	定員	応募者数	受講者数	修了者数	修了率
2022年	50	38	36	28	77.7%
2023年	50	78	50	45	90%
2024年	50	102	50	41	82%

②受講者の住居区分状況

（単位：名）

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
申込者	18	20	10	9	2	16	3	10	11	3	102
受講者	7	9	4	3	2	9	3	4	6	2	50
修了者	4	8	4	2	2	7	1	5	6	2	41

※市外在住者の申込（1名）は対象外で数に含めず。申込後入門への変更1名含む。

③開講式 5月16日（木）

④実技（毎週木曜日）

月 日	内 容
5月23日～9月19日	第19～34講座 基本文法
9月26日～10月3日	第35・36講座 総合練習 I

10月17日～11月7日	第37～40講座 総合練習Ⅱ・まとめ
--------------	--------------------

講師：9名（札幌協推薦講師6名 札幌研推薦講師2名 専通1名）

⑤理論講座

- ・5月16日（木）「ボランティア活動」 講師：三神久子氏
(中級手話講習会担当講師)
- ・7月25日（木）「障害者福祉の基礎」 講師：大井 すみれ氏
(札幌市障がい福祉課在宅福祉係)
- ・10月10日（木）「聴覚障害者活動と聴覚障害者福祉制度」
講師：新田由香氏・太田利実氏
(中級手話講習会担当講師)

⑥修了式・講評・反省会 2024年11月14日（木）

(2) 中級講習会の講師に対する研修及び会議等の実施

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

- ①4月4日（木）事業説明会
- ②4月8日（月）合同講師助手研修会 「奉仕員養成課程のねらい」
- ③5月10日（金）講師研修会「指導技術」
- ④節会議・評価会議・反省会

内 容	日 程			
節会議	①4月10日（水）	②6月12日（水）	③7月17日（水）	④9月11日（水）
講師反省会	2024年11月28日（木）			

【中級手話講習会講師団】

ろう講師	石川幸一 角尾美幸 佐藤正昭 高嶋裕子 新田由香 福島紫
きこえる講師	太田利実 三神久子 藤井義子 ※奉仕員担当専通2名

※きこえる講師は、札幌研推薦講師

- ・2024年度はろう講師6名（内2名は育成講座修了生より新しく加わる）としたが、きこえる講師陣には新しい講師を加えることができず、逆に1名減で進めた。講師が不足の時には、奉仕員担当専通を担当と入っている。またろう者1名、きこえる者2名が聴講生となった。きこえる講師の人材確保が課題であり、聴講生を入れていくことは今後も継続する。
- ・2グループ制・講師配置も定着し、講師も流れをつかみ、講座の進行は円滑である。ただ、受講生のアンケート（中間・修了時の2回）からは、きこえる講師の言動に対する厳しい意見があり、受講生の受け止めを考えながら指導や言葉を選びながら伝えていくことを、講師団で共有し、今後に生かしていくことを確認した。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

- (1) 2024年度も、新型コロナウイルス、インフルエンザ、胃腸炎等、複数の感染症が流行したが、「手指消毒や検温の呼びかけ・ルカミィマスク配付」は行わず、受講生の自主的な体調管理と、体調不良時は受講を遠慮してもらうよう促している。
- (2) 第39講座のろう者ゲスト2名は2024年度も実施している。受講生のみならずゲストろう者も、一生懸命手話で伝えようという姿を見て、良い経験になったとの意見をいただいている。
- (3) 受講生は、講座中に積極的に質問や意見交換が見られ、受講生同士の

支え合いの様子も見られ、講座の雰囲気もとても良かった。

【情報・コミュニケーション部】

(1) 手話講習会について

2024年度より、札幌市手話講習会は新テキスト、新カリキュラムに変わったが、無事に開催することができた。

各区講師同士で協力し合って取り組むことができたが、高齢化に伴い、講師が不足する区が出ており、講師不足の区には理事が入って補った。後継者の育成が今後の課題となっている。

(2) 中級手話講習会について

講師の人数を増やすことにより、経験ある講師たちと支えあってスムーズに進めることが出来た。今後は新たな人材育成が必要。

2025年度から新カリキュラムがスタートするため、不安もあるが、今までの通り丁寧な指導を心がけたい。

(3) 手話通訳者養成講座について

講師の人数を増やすことにより、各担当の負担を減らし、バランスをとることができた。また、資質の向上のため、講義後、情報メール共有に努めた。また担当時に都合がつかない時は講師間で日程調整をした。

(4) 講座全般について

受講生の年齢層は幅広く、個人の力量が課題となっている。初級のみで終わらず、中級講習会、手話通訳養成講座に繋げるよう工夫していく。各講座とも講師たちは掛け持ちが多く、ろう講師、きこえる講師を担う人材が減少し、不安がある。今後資質ある人材の確保のために、講師育成講座の内容の充実、改善を図り、講師を担える人材の養成に取り組んでいく。

(5) 専門部会議について

各区情報コミュニケーション部会議は対面会議9回を行い、他の区の状況を把握し、情報や意見を出しながら話し合いを行った。他にLINEグループでも情報交換ができた。

今後、各支部と手話サークルとの連携を強化し、札幌通研と札幌サ連と共に情報を共有しながら個々の課題把握に努めることが必要である。

IV 札幌市手話通訳者養成等運営会議（派遣・養成）

構 成：札幌市障がい福祉課・札幌聴覚障害者協会・札幌手話サークル連絡協議会・札幌手話通訳問題研究会

期 間：2024年4月～2025年3月（8月除く月1回開催）時間 19：00～20：30

会 場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月 日	区分	主な内容	人数
1	4月18日	派遣	派遣状況、登通状況について	10名
2	5月16日	養成	各講座の申込・選考状況、講師割り振りについて、現任研の報告	12名
3	6月20日	派遣	派遣状況 苦情対応について	11名
4	7月18日	養成	各講座の進捗状況、手話講師育成講座、手話通訳者現任研修会について	12名
5	9月19日	派遣	派遣状況、登通状況、特健結果等報告	11名

6	10月17日	養成	各講座の進捗状況、育成講座、手話通訳者現任研修会、全国統一試験及び学習会について	10名
7	11月21日	派遣	派遣状況、登通状況について	10名
8	12月19日	養成	各講座の進捗状況、来年度講座に向けて、手話通訳者現任研修会、全国統一試験について	13名
9	2025年 1月16日	養成	2025年度各講座に向けて、養成・育成講座の進捗状況、統一試験、現任研修会について	12名
10	2月27日 ※1	派遣	派遣状況、関係機関との連携について	11名
11	3月13日 ※2	養成	2025年度各講座の申込状況、育成講座の修了、現任研修会、若年層モデル事業進捗と今後の展望	10名

※1→ 2月20日から日程変更。 ※2→ 第3週が祝日のため、第2週で実施。

【養成事業】出席者 ※2022年度以降、市はリモートによる参加。

札幌市：障がい福祉課 森岡祥広係長、大井すみれ職員

札サ連：高橋登志子副会長、田向美代子広報部長

札通研：太田利実副運営委員長、佐藤薫事務局長

札幌協：高嶋正博副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、若浜ひろ子理事、福岡静枝理事

担当職員：渋谷梯子課長、佐藤有香係長、事業担当者

【派遣事業】出席者

札幌市：障がい福祉課 森岡祥広係長、遠藤ひかり職員（4月のみ）、大井すみれ職員（6月～）

札通研：太田利実副運営委員長、佐藤薫事務局長

札幌協：渋谷雄幸理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、若浜ひろ子理事

担当職員：渋谷梯子課長、金原さとみ係長、佐藤有香係長、事業担当者

V 手話教室の開催

手話を社会一般に広めるとともに、それを使用する聴覚障害者についての知識や理解も深めてもらうために次の事業を行なった。

1. 手話教室事業の開催（独自事業）

（1）はじめての手話教室

手話の学習経験がない者を対象に、聴覚障害者の生活・文化等を理解するとともに手話で簡単な日常会話ができるようになることを目的として日中に手話教室を開催した。

第45回はじめての手話教室（入門）

期間：2024年5月17日（金）～11月24日（金）（全24回）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：手話講習会の経験ない者、初心者

受講人数：受講生15名（修了生13名）

（2）フォローアップ手話教室

手話奉仕員養成カリキュラム「入門課程」を再度学びなおし、聴覚障害者に対する理解と手話での日常会話技術を深める手話講座を開催した。

①第19回フォローアップ手話教室（昼間）

期間：2025年2月7日（金）～3月7日（金）（全5回）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：手話奉仕員養成カリキュラム「入門課程」の修了者
受講人数：受講生11名（全出席7名）

②フォローアップ手話教室（夜間）

期間：2025年1月27日（月）～2月17日（月）（全4回）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：手話奉仕員養成カリキュラム「入門課程」の修了者

受講人数：受講生38名（全出席32名）

（3）第18回中級手話教室（基礎）

入門編で習得した会話技術に加え、基本文法も学ぶことで特定の聴覚障害者となれば日常会話ができるようになるとともに、福祉制度の基礎知識や聴覚障害者の歴史についても理解できることを目的として日中に中級手話教室を開催した。

期間：2024年5月22日（水）～11月27日（水）（全27回）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：入門課程の修了者または同程度の力量がある者、手話で簡単な会話ができる者

受講人数：受講生20名（修了生19名）

（4）2024年度はじめての手話教室（医療編～薬局で働く人対象～）

あいさつや接客及び薬局現場で使う簡単な手話を学習する手話教室を開催した。

期間：2024年11月22日、29日、12月6日（金）（全3回）

受講人数：受講生10名（全出席8名）

対象：調剤薬局関係者

（5）2024年度はじめての手話教室（医療編～病院で働く人対象～）（夜間）

病院の医師・看護師及びスタッフでのあいさつや自己紹介また医療現場で使う簡単な手話を学ぶことで聴覚障害者が少しでも生きやすい、話が通じやすい環境が広がっていくことを目的とした手話教室を開催した。

期間：2024年6月14日、21日、28日（金）（全3回）

受講人数：受講生12名（全出席11名）

対象：病院関係者

（6）第14回レベルアップ手話講座（昼間）

期間：2025年1月22日（水）～2月19日（水）（全5回）

応募数が最小催行人数に満たなかったため、今回の講座はやむを得ず、中止した。

2. 札幌市ミニ手話講座（札幌市委託事業）

札幌市から委託を受け手話を学習した事のない一般市民を対象に講座を開催した。

期間：2024年6月～2025年3月（10回）

対象：札幌市民

回数	年月日	会場名	対象	申込参加人数
第1回	2024年6月27日（夜間）	市民交流プラザ	市民	28名（8名）

第2回	7月17日(午前)	札幌視聴覚障がい者 情報センター	市民	18名(9名)
第3回	7月27日(午前)	市民交流プラザ	小学4～6年の 子供・保護者	9組19名 (1組2名)
第4回	8月2日(午前)	市民交流プラザ	中高校生	2名
第5回	9月14日(午前)	北区民センター	市民	19名(5名)
第6回	10月22日(夜間)	東区民センター	市民	18名(3名)
第7回	11月12日(午後)	白石区民センター	市民	12名(3名)
第8回	12月11日(午後)	カナモトホール	市民	13名(4名)
第9回	2025年2月6日(夜間)	オンライン (Zoom) 札幌市視聴覚障がい者 情報センター	市民	9名(1名)
第10回	3月7日(夜間)	カナモトホール	市民	29名(2名)

＊ () 当日欠席者数

【手話普及事業担当】

[独自教室]

- ・厚生労働省策定手話奉仕員養成カリキュラムに準じたテキストの全面改訂により、はじめての手話教室では2024年度より新テキストを使用しての指導を開始した。手話動画視聴システムの契約は任意としたため、講座内では同内容を講師が生で表現またはDVDを見せる形で公平性を保った。
- ・「中級手話教室」は、これまでのテキストを継続して使用。2025年度より新テキストに切り替える。
- ・来年度も引き続き、呼びかけ方法などを工夫して各講座15名以上を目指す。
- ・札幌市手話講習会の修了生を対象に、2023年度に引き続き、夜間のフォローアップ手話教室を開催、40名を超える申し込みがあった。

[札幌市ミニ手話講座]

- ・申込人数は2022年度122名、2023年度134名、2024年度167名と毎年増加。
- ・参加者の年齢層は幅広く、積極的に学んでいる姿が見受けられ、アンケート結果もおおむね好評である。

VI 手話講師の派遣

聴覚障害者に対する理解とコミュニケーション方法や言語としての手話を教え、聴覚障害者に対する社会一般の認識を深めるために聴覚障害者の講師を派遣した。

1. 聴覚障がい・手話啓発事業

期間：2024年4月～2025年3月（年間）

場所：市内各所（学校、企業等）

（1）ボランティア活動センターからの依頼 26件

年 月 日	学校名・企業名等	対 象	人数
5月28日	宮の森小学校	小学3年(3クラス)	107名
6月19日	信濃小学校	小学5年(3クラス)	83名
6月21日	新発寒小学校	小学4年(3クラス)	73名

6月26日	月寒小学校	小学5年(2クラス)	89名
6月27日		小学5年(1クラス)	
6月28日	みどり小学校	小学4年(2クラス)	69名
7月3日	清田緑小学校	小学4年(3クラス)	92名
7月3日	開成中等教育学校	中学3年(2グループ)	40名
7月10日	平岡南小学校	小学5年(3クラス)	90名
7月16日	幌西小学校	小学5年(5クラス)	160名
9月4日	北海道科学大学高校	高校3年	16名
9月9日	あいの里西小学校	小学4年(2クラス)	70名
9月10日	手稲鉄北小学校	小学5年(4クラス)	105名
9月12日	北都中学校	中学1年(2グループ)	120名
9月25日	川北小学校	小学4年(4クラス)	115名
10月16日	北野平小学校	小学4年(2クラス)	49名
10月24日	大谷地東小学校	小学4年(2クラス)	59名
10月29日	新琴似北小学校	小学5年(2クラス)	67名
10月30日	学生ボランティア活動	北海道大学学生	5名
11月11日	みなみの杜高等支援学校	高校1年(7クラス)	57名
11月13日	北栄中学校	中学3年(選択)	35名
12月4日	南白石学校	小学4年(1クラス)	29名
12月4日	北陽小学校	小学4年(2クラス)	61名
12月11日	清田小学校	小学4年(2クラス)	61名
12月16日	生活支援ボランティア団体まごのて	大学生	9名
1月9日	さくらアフタースクール	小学1～5年	10名
3月6日	光星中学校	中学校2年(3クラス)	90名

(2) ボランティア活動センター主催手話講座の講師派遣依頼 5件

年 月 日	講座名	対象	人数
2024年4月17日	手話体験講座	一般	13名
6月20日	障がい者講師養成講座	各身体障害者	8名
6月6日～7月18日	ボランティアのため入門講座	一般	13名
12月17日	手話体験講座	一般	9名
2025年1月15日～2月26日	ボランティアのため入門講座	一般	11名

(3) 直接依頼(企業・団体・他) 16件

年 月 日	学校名・企業名等	対象	人数
5月11日	石狩地区郵便局夫人会	一般	50名
6月11日	札幌医科大学	医学部1年	100名
7月4日	札幌シニア大学(午前)	シニア学生	20名
7月4日	札幌シニア大学(午後)	シニア学生	20名
7月9日	札幌医科大学	医学部1年	100名

7月18日	札幌シニア大学(午前)	シニア学生	20名
7月18日	札幌シニア大学(午後)	シニア学生	20名
8月5日	札幌市教育センター専門研修	各区保健福祉部職員	27名
8月23日	区新任職員等に対する研修	教職員	29名
8月27日	札幌LGBTQ	一般	9名
10月16日	大谷大学短期大学部	保育科	14名
10月25日	厚別区シニアのためボランティア講座	厚別区60歳以上の方	20名
11月28日	東区くらしのサポーター養成講座	一般	20名
12月20日	東区ボランティア講座	一般	20名
1月18日	北白石地区安全・安心のまちづくりネットワーク会議	一般	40名
3月18日	北区身近な支え合いボランティア入門講座	一般	4名

2. 手話養成普及事業

(1) 講師派遣事業

期間：2024年4月～2025年3月（年間）

場所：市内各所

学校名・企業名等	期間・回数	学科名等対象	人数
経専学園 経専北海道観光専門学校	後期13回	ホテルウェディング科2年	18名
	前期11回	旅行・鉄道科2年	4名
	後期12回	旅行・鉄道科1年	11名
	後期12回	エアライン科1年	2名
経専学園 経専医療事務薬業専門学校	前期14回	くすり学科2年	9名
	後期14回	くすり学科2年	6名
	後期14回	医療事務学科2年	5名
経専学園 経専北海道保育専門学校	後期前半8回	こども未来学科3年	15名
	後期後半8回	こども学科2年(2クラス)	32名
札幌医科大学	後期12回	作業療法学科1年 理学療法学科1年	35名
	後期12回	看護学科1年	50名
光塩学園女子短期大学	前期16回	保育科2年	14名
西野学園 札幌心療福祉専門学校	後期15回	精神保健福祉科1年	15名
高橋学園 札幌どうぶつ専門学校	前期10回× 2コマ	犬の美容、動物看護、 ペットライフ学科2年	67名
三幸学園 札幌ブライダル& ホテル観光専門学校	前期15回	ホテルエアトラベル科1年	26名
	前期15回	ホテルエアトラベル科2年	23名
さっぽろ市民カレッジ (ちえりあ)	4月～6月 9回	高校生41名・一般8名	49名
せいとく介護こども福祉専門学校	前期8回	介護福祉科1年	37名
	前期8回	こども福祉科1年	13名

	前期 8 回	こども福祉科 2 年	5 名
吉田学園 専門学校北海道福祉 ・保育大学校	前期 8 回	保育未来学科 1 年	20 名
道新文化センター手話東急教室	1 月～ 第 1・3	民間人	12 名

3. 講師・助手研修会開催

「講師・助手事業説明会」を開催した。

日時：2024年5月15日（水）10：00～12：00

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：講師・助手11名（職員4名・ろう者2名・きこえる者5名）

【手話普及事業担当】

- ・単発講座(小中学校)の派遣依頼数は昨年度と比べて10校以上減少しており、時間も2時間続き(90分)から1時間(45分)に短縮されるケースが増えてきた。聴覚以外の裏(視覚)授業を請け負う団体の都合も影響しているとみられる。
- ・少子化や経営難による閉校で2023年度終了となった専門学校が1校あるも新規で2カ所と契約した。
- ・少子化などによりカリキュラムの見直しが起こり、専門学校では手話の授業が削除またはコマ数減少の傾向が見られる。今後も依頼数減少が予想されるため、新規の学校や企業などの開拓に取り組む必要がある。
- ・ろう講師やきこえる講師および助手の高齢化で、人材確保が依然厳しい状況。外部登録者含め、人材育成が必要である。
- ・株式会社北海道医療新聞社から協力依頼のあった『医療ケア』への掲載が終了した。道内の病院や診療所、薬局等に置かれる小冊子で毎月発行。2023年度から2年間(2023年4月号～2025年3月号)、3ページの枠に日常会話を想定した手話表現を写真付きで掲載。読者からの声も寄せられ、一定の啓発効果があったと思われる。

VII 全国手話検定試験

＊試験会場として実施協力（主催：社会福祉法人全国手話研修センター）

(1) 試験実施にあたっての説明会in全国大会

日時：2024年6月7日（金）17：30～18：10

会場：和歌山城ホール

出席：京野常務理事兼事務局長

(2) 10月会場試験 全体説明会

日時：2024年8月20日（火）13：30～15：00

方式：Zoom会議 ＊全3回開催のうちの1回

出席：京野常務理事兼事務局長、担当職員

(3) 受験者のための学習セミナー

日時：2024年8月31日（土）9：30～16：30

会場：市視聴覚障がい者情報センター

開催級：5級～2級

定員/申込人数/受講者数

(単位:名)

5級	30	33	31	4級	30	30	28
3級	30	30	26	2級	10	10	8

講師および模擬面接委員 (単位:名)

	ろう	きこえる	通訳
講師	2	2	2
模擬面接委員	9	9	3

(4) 第19回全国手話検定試験

日程：2024年10月12日（土）5級・4級

10月13日（日）3級・2級

10月19日（土）準1級・1級

会場：市視聴覚障がい者情報センター／市社会福祉総合センター

定員/申込者数/受験者数/合格者数 (単位:名)

5級	100	95	86	85	4級	100	94	82	80
3級	100	92	84	77	2級	65	38	35	26
準1級	30	18	18	13	1級	30	3	3	2

面接委員および要員 (のべ人数)

	ろう	きこえる	計
面接委員	34名	24名	48名
要員	32名	48名	80名

(5) 団体試験

日時：2024年11月20日（水）13：00～

会場：学校法人美専学園北海道医薬専門学校

級：5級

人数：11名

派遣：ろう面接委員 1名、要員（音声・タイム・カメラ） 1名

(6) インターネット試験

日時：2025年2月 9日（日）2級（10：00～12：30, 13:30～16：00）

2月11日（火・祝）4級（10：00～12：30, 13：30～16：00）

会場：市視聴覚障がい者情報センター（Zoom方式）①スタジオ ②試写室

受験者：2級40名、4級40名

面接委員および要員

	ろう	きこえる	要員
2/9(2級)	4	4	5
2/11(4級)	3	1	4

【手話検定試験担当】

- ・昨年に引き続き、社会福祉総合センターと情報センターの2館を使用して開催した。1年前に行われた貸室の抽選会では押さえられなかった読み取り試験会場が開催直前に空いたため、ゆとりをもって準備ができたのは幸運だった。また限られた要員数で誘導しやすいよう、情報センターにも待

機室も設けて対応。全体的に大きな支障もなく無事に実施できた。

- ・受験呼びかけに制限もあり出足が悪かったものの、5級から3級は受付期間終了間際に定員に達した。申し込みが間に合わなかった方には級を変更したり諦めた方がいた。
- ・面接委員と要員の調整には相変わらず苦慮する。ひとりの面接委員に複数級を兼務してもらう、遠方（十勝管内）へも範囲を広げて協力を求める、などして対応。また基本的には、面接委員と要員をセットで依頼しているが、半日を希望する方が増えており、要員確保が厳しくなっている。
- ・二年ぶりにインターネット試験を行った。遅刻者やトラブル発生時の対応などが少しずつ整理されている様子が見られ、それに伴ってか割り振られる受験者の地域が広範囲に変わっていた。基本的には標準手話で行われる試験ではあるが、方言手話との認識なく使用されていることもあるため、今後はより一層面接委員にも意識と研鑽が必要。

VIII 札幌市職員向け手話研修動画制作

札幌市職員が動画を見て手話を学び、手話を使用して日常生活を営む聴覚障がいのある者に対応する際に単語やの簡単な会話等を手話で行えるようにすることで、円滑なコミュニケーションが取れるようにすることを目的に動画制作を行った。

業務内容

- ・札幌市職員が接遇において、手話単語、簡単な会話等を選定する。
- ・業務目的に基づいた映像コンテンツを12本制作する。
- ・動画1本あたり1～2分程度。
①名前 ②数字 ③日にち ④家族（単語編）⑤家族（会話編）⑥時間
⑦曜日 ⑧趣味 ⑨仕事 ⑩地名 ⑪交通手段 ⑫災害の動画を制作し、
2025年3月3日に納品した。

IX 手話通訳者育成指導者養成の開催

1. 手話講師育成講座事業（札幌市委託事業 コミュニケーション支援課担当）
(1) 2024年度手話講師育成講座事業の開催（2014年度開始）

手話奉仕員と手話通訳者養成事業を担う講師（人材）の確保を確実に進めるため、講習技術の向上を図り適切な講習が可能な講師を増やすことを目的としている。2024年度は、手話講習会で全面改訂版テキストを初めて活用しての指導の中で、苦慮した・わかりにくい箇所（講座）のアンケート結果を基にカリキュラム編成を行った。また、2025年度から中級手話講習会も新しいテキスト導入となるため、後半は基礎課程の内容を実施した。

申込者が2024年度も60名以上と定員を超えたが、札幌協と協議の上、落選者は出さず、急きょ対象受講者の状況を踏まえた「基礎課程のみ」を新設し、申込のあった66名全員を何らかの形で受講できるよう調整を行った。

①手話奉仕員入門課程（定員60名）

回数	期 間	受講者数	受講証明書 授与者	修了率
8コマ	11月9・10日、12月14日	61名	21名	34.4%

②手話奉仕員基礎課程（定員30名） ※基礎課程のみ5名はここから出席。

9コマ	2025年1月18・19日、2月1・8日、 3月15・16日	33名	13名	39.3%
-----	-----------------------------------	-----	-----	-------

③理論講義（合同）

演題	講師	実施日	受講者数
ことばの仕組み （手話言語）	全国手話研修センター推薦講師 川口 聖氏	1月31日	46名
手話通訳の理念と仕事 Ⅰ・Ⅱ	全国手話研修センター 常務理事 小出 新一氏	3月16日	39名

【手話講師育成講座講師団】

ろう講師	渋谷雄幸 若浜ひろ子 佐藤裕介
きこえる講師	渋谷梯子 菅原美樹 山田幸雄 佐藤有香

講師団は札幌協会員で講座の指導経験が豊富な者、きこえる講師は専通が担当している。講師会議では、当初は手話奉仕員養成と手話通訳者養成の二本立てであったが、テキスト全面改訂、新テキスト導入後の様子を踏まえて、手話奉仕員養成課程（入門・基礎）に絞った形で実施することとした。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

（１）理論講義講師は、全国手話研修センターへ依頼して「ことばの仕組み（手話言語）」は昨年度に引き続き川口氏、「手話通訳の理念と仕事ⅠⅡ」は小出常務理事に来札していただき、若年層手話通訳者モデル事業の現状も含めて対面での講義を依頼した。理論講義は講師を担う上で必須となる内容であり、受講者アンケートでは、難しいが繰り返し学習が必要と感じたとの意見があった。

X 若年層手話通訳者養成モデル事業

（全国手話研修センター委託事業コミュニケーション支援課担当）

厚生労働省が実施主体で、全国手話研修センターに委託事業し、2018年度より、おおむね35歳以下の若年層を対象とした手話でコミュニケーションができる人、手話通訳者を養成することを目的としている。

北海道では初めて、札幌大学と札幌聴覚障害者協会が協定書を結び、2024年度「手話コミュニケーション講座」を開始することとなった。修了考査として手話検定2級の合格を目標とした。また、実習の位置づけで「札幌ろうあ者文化祭」への参加、受験対策講座として補講等も実施した。

期 間 ： 2024年5月18日（土）～2024年11月30日（土）

会 場 ： 札幌大学（札幌市豊平区西岡3条7丁目3番1号）

対象者 ： 市内大学生を中心とした35才以下の手話を初めて学ぶ方

使用テキスト：手話奉仕員養成テキスト「手話を学ぼう手話で話そう」

手話奉仕員養成テキスト「講義用テキスト」

実技講座	理論講義	定員	受講者数	修了者数	修了率
20講座	3講座	20	20	10	50%
手話検定2級 受験日 1月25日（土） 申込11名 合格6名					

【公2】生活支援事業

I 聴覚障害者支援センターほほえみ

1. 地域活動支援センター事業（札幌市補助事業）（定員：15名）

聴覚障害者への理解を深める啓発活動を進め、重複及び聴覚障害者に対する障害者福祉サービスを提供した。

(1) 地域活動支援センターほほえみ西

ろう者、重複ろう者、難聴者などの交流と日中活動を支援する。

利用時間：（火～土 10時～15時）

場所：西区二十四軒1条5丁目3-12

内容：交流・教養及び防災訓練等実施、送迎サービス

⑦通所者数・月別(延べ人数) (単位：名)

	24年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	25年 1月	2月	3月
合計	213	188	221	257	234	233	243	254	182	175	173	203

⑧各区分・登録者数 (単位：名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	市外
合計	4	12	9	12	5	2	2	2	10	10	1

(2) ほほえみ西 年間行事報告 (単位：名)

月日	内容	場所	参加者数				
			利用者	ボランティア	職員	その他	合計
2024年 4月9日	お楽しみ会	福祉センター	21	4	3	2	30
4月27日	外出の日(花見①)	二十四軒すずらん公園	7	1	3	0	11
4月30日	外出の日(花見②)	農試公園	13	3	3	0	19
5月29日	学習会(地下鉄での災害)	福祉センター	16	3	3	0	22
6月12日	社会見学	札幌市水道記念館	18	6	3	0	27
6月22日	散歩の日(午前)	二十四軒公園他	5	1	3	0	9
6月22日	散歩の日(午後)	二十四軒公園他	6	3	3	0	12
7月13日	ミニ上映会	福祉センター	8	3	2	0	13
7月27日	外出の日	厚別区民祭り	22	5	2	0	29
8月9日	お楽しみ会(とも交流)	福祉センター	16	5	3	11	35
9月13日	社会見学	札幌市交通資料館他	21	7	3	0	31
9月20日	外出の日(オータムフェスト)	大通西5丁目会場	15	3	3	0	21
10月8日	パステル教室	ほほえみ西	13	2	3	1	19
10月9日	外出の日	札幌市資料館	11	4	2	0	17
11月2日	お楽しみ会	サンコーボウル	18	4	3	0	25
11月13日	ほほえみカフェ食事会	ほほえみカフェ	14	3	3	0	20
12月14日	クリスマス会	福祉センター	33	10	3	3	49
2025年 1月10日	餅つき	ほほえみ西	15	4	3	0	22

2月4日	節分	ほほえみ西	10	4	3	1	18
2月7日	学習会(災害の備え)	ほほえみ西	13	2	3	1	19
2月15日	避難訓練	ほほえみ西	7	1	3	0	11
3月18日	西15周年お祝い会	福祉センター	31	12	3	2	48

⑦様々な行事企画を作ったため、通所者数アップにつながった。

⑧見学希望者が増えている。登録（利用者・ボランティア）につなげていきたい。

⑨利用者に合わせた活動内容やゲームを曜日によって変えているため、楽しく過ごしている。

(3) 2025年度に向けての課題

①運営を安定させるため、今後も幅広い世代の新規利用者を増やす。

②利用者の高齢化のため、安全対策を考える。

③札幌市地域活動支援センター連絡会と連携し、札幌市に補助金大幅引き上げ交渉を続ける。

④職員4人体制を作り、働きやすい環境を整える。

2. 就労継続支援事業（指定障害福祉サービス事業）

就労継続支援B型事業（定員：35名）

障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業として、聴覚障害者が安心して働くことのできる作業所の運営を行なった。

(1) 利用者数

(単位：名)

	24年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	25年 1月	2月	3月
利用者数	33	34	34	34	34	34	34	33	33	32	35	38
延べ 利用者数	498	485	476	543	463	442	545	498	499	446	491	517

(2) 行事参加状況

月日	行事名	場所
9月20日	社会見学	エスコンフィールド
10月6日	ろうあ者文化祭	身体障がい者福祉センター
11月10日	ほほえみ後援会15周年お祝い会	身体障がい者福祉センター
2月24日	仲間の話合い(お別れ会)	視聴覚障がい者情報センター

(3) 出店バザー等

①バザー

2024年度	バザー	場所
4月	福祉バザーin清田区役所 ほほえみ後援会 2024ガイドドッグオープンデー	清田区役所 視聴覚障がい者情報センター 公益社団法人北海道盲導犬協会
5月	長沼小屋shop 社員総会 あかしあ喫茶	CRESSガーデン内oliveハウス 視聴覚障がい者情報センター 札幌市あかしあ学園

7月	福祉バザーin清田区役所	清田区役所
9月	第65回全道ろうあ者大会 あかしあ喫茶 丘珠マルシェ	室蘭市 札幌市あかしあ学園 さとらんど
10月	福祉バザーin清田区役所 第49回札幌ろうあ者文化祭 いっしょにね文化祭	清田区役所 札幌市身体障害者福祉センター 北翔大学北方圏学術情報センター ポルト
12月	福祉バザーin清田区役所 あかしあ喫茶 チカホバザー	清田区役所 札幌市あかしあ学園 札幌地下歩道空間
2月	福祉バザーin清田区役所	清田区役所
3月	第46回耳の日市民のつどい あかしあ喫茶	道民活動センター 札幌市あかしあ学園

②訪問販売

4月～ 2025年3月	札幌市産業振興センター、株式会社アイワード、 就労継続支援A型事業所ユニゾン、 就労継続支援B型事業所なごみ、かでの2. 7、 和田精密技研株式会社、デイサービスほほえみ白石、 太平南小学校（4月～11月）、札幌協理事会 介護老人保健施設豊翔の郷、 介護老人保健施設エルクオール平和
----------------	---

③委託販売

4月～ 2025年3月	春がきた？きた！マーケット（みんなのいえ） 南地区会（中央区民センター）
----------------	---

（4）委託販売場所

	店 名	場 所
1	元気ショップ	大通東西線コンコース内
2	元気ショップ「いこーる」	札幌駅西コンコース内
3	Ohana E.S 合同会社	市民交流プラザ等

（5）実習 受け入れ状況

7月5日 札幌聾学校 職業体験3年生1名 引率教諭1名

場所：ほほえみ作業所

6月10日～14日 北海道高等聾学校 職業体験2年生1名

10月4日 札幌市栄南中学校 職業体験2年生3名

11月22日 札幌聾学校 職業体験1年生1名 引率教諭1名

場所：ほほえみカフェ

（6）見学・取材 受入れ状況

月 日	取材元	参加者	内容	場所
9月25日	北海道高等聾学校	生徒 5名 引率教諭 3名	社会見学	ほほえみカフェ

(7) 防災・防火訓練

月日	場所	参加人数			
		利用者数	職員数	その他	合計
7月9日(防火・避難)	ほほえみ作業所	7	5	0	12
11月19日(防火)	ほほえみ作業所	11	5	1	17
2月27日(防災)	菓子工房ほほえみ	4	3	0	7
2月28日(防災)	菓子工房ほほえみ	3	3	0	6

(8) 送迎サービス

(ア) 事業所間の送迎車での利用：

ほほえみ作業所・ほほえみカフェ⇄地下鉄菊水駅・GH

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延回数	222	225	204	224	209	183	165	197	173	154	113	109

(イ) 各事業所⇄自宅

交通手段	2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
車	事業所	0	0	0	3	0	4	15	67	87	92	244	293
	家族	35	34	47	44	43	19	10	18	12	8	11	20
公共交通機関	職員	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	14	0
	ボランティア	0	0	0	0	2	0	0	6	2	3	4	3
徒歩	職員	2	6	3	1	1	0	1	8	43	43	52	53
	回数	37	40	49	48	46	25	26	99	144	146	314	369

(9) ほほえみ作業所

さまざまな体験を通して、一人ひとりの持っている力を活かした就労支援を行なった。

作業時間：月～金 9：30～15：30

場所：白石区菊水元町5条1丁目9-8

内容：下請作業・施設外就労・自主製品制作及び販売、送迎サービス、防災訓練等実施

①取り組み：下請け作業、委託作業、施設外就労など

		作業内容	昨年比
下請け作業	A社	シール貼作業、袋詰め作業など	約1万円収入増
	B社	月～金 毎日、封入作業など	約8万円収入増
	C社	手提げ袋の裁断、ヒモ付け作業など	約16万円収入減
	D社	食品の袋詰め作業	約17万円収入増
	E社	紙製品の加工作業	約40万円収入減
	F社	紙製品の加工他軽作業	約27万円収入増
	G社	袋詰め作業	新規
	H社	シール貼作業、袋詰め作業など	新規

新聞帯封作業	札幌協の新聞と北聴新聞・ ほほえみ便りの発行作業	継続
--------	-----------------------------	----

施設外就労	企業の倉庫内での箱折り、梱包 作業など	47回
	すき焼き店（すすきの）の清掃 業務	昨年8月開始3月で終了

②授産製品の見直しや工夫による効果

手芸品	定番商品の製作は下請け作業が忙しく在庫を保つことが難しい 状況が続いている。利用者の視力の低下や見え方の変化により 針仕事が難しくなっている。
紙製品	テレワークの作業として製作を進めている。

③作業所の売上推移

（単位：円）

	バザー	ショップ	下請作業	収入計
4月	2,511	16,640	174,410	193,561
5月	1,800	5,407	177,470	184,677
6月	2,500	4,147	193,106	199,753
7月	7,112	5,497	272,338	284,947
8月	600	6,397	237,175	244,172
9月	4,400	5,767	171,437	181,604
10月	14,209	4,057	253,156	271,422
11月	0	5,317	292,490	297,807
12月	1,900	5,092	226,811	233,803
1月	1,600	8,827	196,459	206,886
2月	2,200	5,497	184,439	192,136
3月	5,320	1,942	205,715	212,977
合計	44,152	74,587	2,585,006	2,703,745

【成果と目標】

1月末のデイサービス閉鎖に伴い6名の利用者が移行し、4名が通所日数を増やせるように申請変更を行った。今後も見学の予定があり随時対応する。1階スペースを活用することで、階段昇降が難しい利用者も通所が可能になった。

作業時間を1階は3時間/日、2階は5時間/日とし、1階は軽作業の他、休憩時間を長く設定し利用者同士の交流やレクリエーションの時間を設け、2階は高い工賃を目指せるよう軽作業の他、技術の必要な作業や施設外就労を行っている。

歩行が困難な利用者に対し自宅までの送迎を始めた。効率よく行えるようコースを考えなければならない。

利用者が就労を通し、社会参加や仲間との交流など、楽しく通所が続けられるよう職員の体制を整える。

(10) 菓子工房ほほえみ

社会参加を目的とし売上を伸ばすだけではなく、作業内容を通して生活習慣やマナーなどについても支援した。

作業時間：月～金 9：30～15：30

場所：白石区菊水3条3丁目2-8

内容：菓子・パン製造、販売、送迎サービス、防災訓練等

①取り組み：現状の把握をしながら、利用者の技術の向上、社会参加を目指す。

製菓・製パン作業	利用者の製パン技術が向上したことの他、利用者から提案のあったお菓子を商品に繋げることが出来た。今後も続けていく。
ミニショップ	本年度より営業を週3日から週4日に変更することで、お客様が増えていきリピーターとなる方がおり、売上が少し伸びた。
社会への参加	外出行事はほぼ実施できなかったが、B型事業所の行事で「社会見学」に参加することが出来た。

②来客数・売上

月	ショップ 売上 (単位:円)	その他売上 (単位:円)	菓子工房 売上 (単位:円)	来客数 (単位:名)	営業日数 (単位:日)
4月	57,000	156,328	213,328	95	17
5月	65,460	107,360	172,820	82	17
6月	84,550	133,878	218,428	100	16
7月	50,800	119,779	170,579	82	18
8月	53,380	111,277	164,657	115	18
9月	45,100	117,902	163,002	105	15
10月	63,940	193,599	257,539	124	19
11月	64,410	164,389	228,799	122	17
12月	66,430	130,511	196,941	86	15
1月	47,040	110,284	157,324	89	16
2月	41,950	107,592	149,452	89	14
3月	38,920	108,343	147,263	79	14
合計	678,980	1,561,242	2,240,132	1168	196

【下請けの取り組みと成果】

はちみつの瓶詰め作業	今年度、はちみつの瓶詰め作業の依頼を4月から10月まで受けた。慎重にミスの無いように進めている。
もなかセットアップの下請け作業	お茶の土倉さんからの下請け作業は、順調に進めることができています。定期的に依頼もあり、今後も丁寧に作業を続けて行きたい。
大豆ミートの袋詰め作業	ハーモニーガーデンより、色々な種類の大豆ミートの袋詰め依頼を受けた。ミスの無いよう進めている。

【目標】

菓子工房ほほえみでは、製菓、製パン作業を通してやりがいのある仕事を提供し、社会参加につながる経験ができるよう取り組みを続ける。

(11) ほほえみカフェ

菓子製造・カフェ業務の他、今年度から始めた下請けの仕事を通して、新たな可能性を広げられるよう就労支援を行った。

作業時間：月～金 9：30～15：30

場所：豊平区豊平3条7丁目1-1

内容：菓子・ケーキ製造、販売、接客、調理補助、清掃等

①来客数・部門別売上

月	人数(名)	カフェ 部門(円)	菓子 部門(円)	お弁当(円)	委託作業他 (円)	計 (円)
4月	194	193,620	386,172	116,950	0	696,742
5月	203	145,330	247,145	35,730	127,300	555,505
6月	210	171,840	277,224	133,850	0	582,914
7月	203	195,440	270,359	144,850	0	610,649
8月	278	235,440	197,738	120,250	31,668	585,096
9月	272	165,560	279,683	137,150	51,705	634,098
10月	272	244,470	437,184	164,400	24,173	870,227
11月	234	174,610	411,706	132,600	16,200	735,116
12月	163	118,480	714,037	105,350	31,330	969,197
1月	177	128,460	178,734	133,200	20,100	460,494
2月	213	149,240	243,071	95,200	14,952	502,463
3月	243	199,050	360,909	127,500	13,800	701,259
計	2,662	2,121,540	4,004,062	1,361,585	416,673	7,903,860

②ギャラリー貸出、イベント

内容	期間	詳細・実績等
ギャラリー 無料貸出	4月	『コウイシおっさんズ写真展』 札幌デフフォトクラブ
	5月	木村克己氏 『能登写真展』
	6月	『手』札幌デフフォトクラブ
	7月	内藤潤氏 『幸せを呼ぶ女神の白いリス写真展』
	8月	『五人侍』写真展
	9月	内藤潤氏、岡崎尚則氏、石原栄市氏 『エゾリス写真展』
	10月	フチヌ工房アイヌ刺繍展
	11月	地域活動支援センターほほえみ西 展示
	12月～3月	しまぶんれい氏の作品展
手話サロン	第2水曜日	中止

③取り組み

期間	内容
4月～3月	訪問販売・バザー さっぽろ産業振興センター・障害者事業所なごみ 障害者事業所ユニゾン・和田精密株式会社 かでの2.7・デイサービスほほえみ白石 太平南小学校・株式会社アイワード 介護老人保健施設豊翔の郷・札幌協理事会/総会 介護老人保健施設エルクオール平和 札幌市あかしあ学園・北海道盲導犬協会
4月～3月	ハワイスコーン委託製造
10月	ハロウィーンケーキ販売
12月	クリスマスケーキ販売

【成果及び目標】

昨年に引き続きイベントや訪問販売への参加は増えている。コロナの影響で中止していた介護施設の訪問販売再開や新規の介護施設での販売も行った。ただ、通所者の減少もあり、作業負担は増えている。来年度の目標としては、新たな通所者の獲得が急務である。

3. 共同生活援助事業（指定障害福祉サービス事業）

聴覚障害者グループホームよつば（介護サービス包括型）

（入居定員よつば5名、さくら3名）

障害者総合支援法に基づく共同生活援助事業として、聴覚障害者が安心して生活できる場所の運営を行った。

場所：白石区菊水元町6条1丁目

内容：個別支援計画に基づくサービスの提供

食事提供や保清などの本的な生活に代わる支援

日中活動先との連絡調整などの支援

金銭管理、相談や援助など社会生活に関わる支援

健康管理や通院同行など保健医療に関わる支援

利用者数(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
よつば	150	152	150	153	155	149	137	120	125	121	112	124
さくら	60	55	60	62	57	55	57	67	60	54	56	85

① 行事

㊦防災訓練 5回実施

月日	場所	参加人数			
		入居者	職員	その他	合計
6月20日	よつば内	5	4	0	9
6月22日	さくら内	2	2	0	4
10月27日	東札幌まちづくりセンター	1	1	1	3
2月20日	よつば内	0	4	0	4
3月29日	よつば内、さくら内	6	2	1	9

①外出レクリエーション

月	内容・場所	参加者数			
		入居者	職員	その他	合計
4月	リト@葉っぱの切り絵展	5	4	0	9
5月	中山峠道の駅、定山溪足湯	7	6	0	13
7月	余市、蘭島海水浴場	6	5	0	11
9月	よつば開所10周年お祝い会	7	4	0	11
12月	忘年会(よつば内)	6	5	0	11
3月	コカ・コーラ工場見学	7	5	0	12

*他、入居者個人の希望で、かみがみの森展覧会、広島県に行きカープ試合観戦、大相撲札幌場所、豊平川花火大会見物(グループホーム近くの土手から)上白石神社祭、長年会えていなかった弟に面会(札幌市内)など、外出支援を行った。

②わたしの日

月	希望	場所	入居者	職員
5月	ロイズ見学に行きたい	当別町	1	1
5月	新しくできた水族館に行きたい	A0A0	1	1
7月	焼肉屋さんに行きたい	白石区内	1	1
7月	パフェを食べて買い物をしたい	イオン	1	1
8月	北海道博物館に行きたい	厚別区	1	1
8月	お寿司屋さんに行きたい	白石区内	1	1

*入居者の誕生日頃に合わせ、自分の行きたいところや同行職員の希望をだしてもらい、一緒に計画し願いを実現する日とした。冬季生まれの利用者は、春に行く予定。

③見学者

5月…入居希望者、母親

…入居希望者、ろうあ者相談員

9月…北海道高等聾学校教諭3名

…石川県聴覚障害者協会、北海道ろうあ連盟より各1名

【取り組みと成果】

- ・自分で考え、物事を決められるように見守りするようになった。
- ・次第に自分で考え決めることができるようになり、自信を持った生活ができるようになってきている。
- ・各居室に設置している運動器具を使用したり、職員と一緒に体操やストレッチを行い、運動不足にならない様になっている。買い物の際、遠まわりをして歩く距離をのばすなど、日頃から運動の機会をつくるように工夫している。

【目標】

- ・男性入居者1名募集中。契約に繋がるようPR活動に努める。
 - ・入居者の体力維持と生活習慣病の予防と改善のため、運動の機会を増やす。
 - ・入居者のニーズに合わせた外出を増やし、様々な経験ができる機会を増やしたい。
 - ・現在、3か所のアパートで運営中。時期は未定だが、将来一つの建物で運営できるよう転居も視野に考えたい。
- 理由は、コスト削減、支援の効率化、入居希望者のスムーズな契約に繋がると予想されるため。

4. 職員研修

(地域活動支援センター・就労継続支援B型事業所・共同生活援助事業所)

月日	研修内容	担当・講師等	参加者	
			人数	対象
6月25日	食品衛生責任者養成講習会 eラーニング学習	一般社団法人札幌市食品衛生協会	1	作業所職員
8月5日	感染症予防対策について	札幌市保健所感染症総合対策課 菅野氏・川原氏・服部氏	13	全員
8月9日	基礎研修「基本的な支援について」	就労継続支援B型事業所 BIZ ROOM MALIV サービス管理責任者道野氏	1	入職3年未満職員
9月20日	令和6年度 第1回白石全体会	白石区保健福祉部保健福祉課	1	サビ管
10月9日	災害に備えた地域での支え合い研修会 2024	一般社団法人 Wellbe Design	3	各所担当者
11月5日	「ニーズに応じた就労支援に関する視察研修 in 札幌」	北海道社会就労センター協議会	1	サビ管
12月3日 ～20日 (3日間)	障がい福祉サービス事業所管理者向け研修	キャリアバンク株式会社	1	管理者
1月20日	障がい者虐待防止&危機管理	Mental-Consul 相内雄介氏	2	地活職員
2月5日	虐待防止研修 あなたが「被害者」になったら？	岩見沢ななほし法律事務所 田村 秀樹氏	2	地活職員
※その他、虐待防止、身体拘束適正化、感染症対策、BCP 計画についての動画視聴研修を実施				

5. 聴覚障害者支援センターほほえみ事業運営委員会

期間：2024年4月～2025年3月（年3回実施）

会場：市視聴覚障がい者情報センター、札幌市身体障害者福祉センター

回	月日	人数	備考
第1回	2024年5月18日 10：00～12：00	12名	会場開催
第2回	9月24日 19：00～21：00	10名	会場開催
第3回	2025年1月25日 10：00～12：00	12名	会場開催

構成：団体等個人に委員を委嘱

北海道高等聾学校：大塚雅彦校長

北海道札幌聾学校：柴田和知代教頭

札幌手話サークル連絡協議会：堀井淑氏、岩崎友紀氏

札幌手話通訳問題研究会：佐藤薫氏、木山夕子氏

聴覚障害者支援センターほほえみ後援会：樋口道雄氏、那須美枝子氏

公益社団法人札幌聴覚障害者協会：高嶋正博副理事長、野口和伸理事
担当職員：

聴覚障害者支援センターほほえみ：センター長 荒井友理
(ほほえみ作業所)：所長 沖田真紀子
(ほほえみカフェ)：店長 荒井友理
(グループよつば・さくら)：管理者 蝦名尚美
(ほほえみ西)：所長 岩崎剛

内容：3事業（就労継続支援B型・地域活動支援センター・共同生活援助）
の現状報告及び意見交換を行った。

6. 「虐待防止委員会」及び「身体拘束適正化委員会」開催

(さっぽろ聴覚障害者介護支援センターと合同開催)

回	月日	人数	内容
第1回	2025年1月23日 19：00～20：00	7名	各規程の確認、各所事例について、虐待防止の各所の取り組みについて報告と意見交換を行った。

期間：2024年4月～2025年3月（年1回以上実施）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

構成：団体等個人に委員を委嘱

第三者委員：特定非営利活動法人レストレーションサポート

代表理事 奥村宣久氏

公益社団法人札幌聴覚障害者協会：高嶋正博副理事長【欠席】

福島太郎監事

担当職員：

聴覚障害者支援センターほほえみ：センター長 荒井友理

(ほほえみ作業所)：所長 沖田真紀子

(ほほえみカフェ)：店長 荒井友理

(グループホーム)：管理者 蝦名尚美

(地域活動支援センターほほえみ西)：所長 岩崎 剛

さっぽろ聴覚障害者介護支援センター：センター長 樋口あやこ

(ほほえみ白石)：所長 中村千恵【欠席】

(ほほえみ手稲)：所長 有山将大【欠席】

(ほほえみの郷)：所長 樋口あやこ

7. 「感染症対策委員会」開催

回	月日	人数	内容
第1回	2025年1月23日 20：00～20：45	5名	各規程の確認、各所事例、感染症対策の取り組みについて報告と意見交換を行った。

期間：2024年4月～2025年3月（年1回以上実施）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

構成：各所担当職員

担当職員：

聴覚障害者支援センターほほえみ：センター長 荒井友理

(ほほえみ作業所)：所長 沖田真紀子

(ほほえみカフェ)：店長 荒井友理

(グループホーム)：管理者 蝦名尚美

(地域活動支援センターほほえみ西)：所長 岩崎 剛

さっぽろ聴覚障害者介護支援センター：センター長 樋口あやこ

(ほほえみ白石)：所長 中村千恵 【欠席】

(ほほえみ手稲)：所長 有山将大 【欠席】

(ほほえみの郷)：所長 樋口あやこ

8. 聴覚障害者支援センターほほえみ後援会主催の街頭募金活動（参加協力）

日時：2024年9月23日（月）

場所：大通公園周辺および狸小路商店街

II 字幕・手話付き映像作品の制作

1. 聴覚障がい者向け映像資料制作事業（札幌市委託事業）

札幌市の聴覚障害者のニーズを把握し、聴覚障害者への情報提供に資する貸出用ビデオ、札幌市政に関するインターネット配信用動画を制作した。

期間：2024年4月～2025年3月（年間）

場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター聴覚障害者情報提供施設

内容：年間33本制作

(1) 講座撮影・教材 6本

分類	タイトル	時間(分)
講座 (3本)	2023冬季デフリンピック報告会	68
	宮大工の規矩術？聞く術？	92
	韓国ろうあ者協会大田広域市協会との交流事業報告会	97
教材 (3本)	手話を読み取ろう2024 ～買い物場面～	17
	手話を読み取ろう2024 ～健康について～	17
	手話を読み取ろう2024 ～札幌の手話～	6

(2) ニュース 12本

タイトル	時間(分)
札幌聴覚障がい者ニュース(2024年4月号)	25
① 2024年度札幌市新規登録手話通訳者 ② ほほえみ西お楽しみ会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2024年5月号)	40
① 聴覚障害者バレーボール競技 北海道・東北地区予選大会 ② 男子バレーボール試合 札幌市チームVS青森県チーム	
札幌聴覚障がい者ニュース(2024年6月号)	34
① ホームヘルパーってどんな仕事？	

札幌聴覚障がい者ニュース(2024年7月号)	34
① 札幌聴覚障害者協会北区支部創立50周年	
札幌聴覚障がい者ニュース(2024年8月号)	31
① 故・長谷川金吾さんタコ部屋労働ウラ話 ② カーリンコン体験	
札幌聴覚障がい者ニュース(2024年9月号)	48
① デフ・アイデンティティとは何か?	
札幌聴覚障がい者ニュース(2024年10月号)	28
① 第49回札幌ろうあ者文化祭典	
札幌聴覚障がい者ニュース(2024年11月号)	25
① ほほえみ後援会創立15周年記念お祝い会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2024年12月号)	50
① 第17回札幌合同研修会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2025年1月号)	22
① デイサービスほほえみ白石で百寿お祝い会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2025年2月号)	20
① 赤レンガ庁舎前庭でデフリンピックPR ② 札幌市主催デフ・カーリング体験会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2025年3月号)	42
① 第47回耳の日市民のつどい	

(3) 自主企画制作 5本

タイトル	時間(分)
2024年度札幌市手話動画集 (1)	27
パラスポーツ・ボッチャに挑戦!	14
カルチャーナイト2024 朗読と手話&手話ソング	32
さっぽろ雪まつりレポート	12
2024年度札幌市手話動画集 (2)	27

(4) インターネット配信用映像(札幌市政に関する内容) 10本

タイトル	時間
住民票など証明書のコンビニ交付は100円お得です!	7分52秒
札幌版熱中症特別警戒アラートについて	6分12秒
クーリングシェルターのご利用について	4分34秒
HPVワクチンの接種の機会を逃した方へのキャッチアップ接種(無料)について	4分53秒
9月23日は手話言語の国際デー(2024年度)	4分10秒
高齢者新型コロナウイルス定期予防接種のお知らせ	4分47秒
札幌市手話講習会修了式受講生代表手話スピーチ	4分8秒
パラスポーツフェスタで東京2025デフリンピックPR	9分8秒
地震・津波の情報(1) 津波フラッグ	8分57秒

地震・津波の情報（2）北海道・三陸沖後発地震注意情報	12分6秒
----------------------------	-------

2. 「目で聴くテレビ」用ビデオ制作

認定NPO法人障害者放送通信機構「目で聴くテレビ」番組5本提供。

3. 職員研修

「令和6年度聴覚障害者向け映像制作担当職員研修会」

対面形式※5年ぶり（参加者：亀田職員）

開催日：2024年11月21日（木）～22日（金）

会場：新潟県聴覚障害者情報センター（新潟県新潟市江南区）

研修内容

1日目：講義

- ・「著作権制度の概要」文化庁著作権課 職員
- ・「能登半島地震における情報発信」石川県聴覚障害者センター職員
- ・「取材から見えてきたもの～令和6年能登半島地震から～」目で聴くテレビ ディレクター

2日目：意見交換

Ⅲ 字幕・手話付き映像作品及び情報機器の貸出等

1. 聴覚障がい者向け映像資料等貸出事業（札幌市委託事業）

（1）業務内容

- ①聴覚障がい者の文化享受の増進を図るために、聴覚障がい者に対して、字幕または手話付き映像資料等の貸出を行なった。
- ②聴覚障害者の利便に資する情報機器を展示し、情報機器の啓蒙・啓発を行なうとともに、機器の利用に関する相談に応じた。
- ③パソコンを聴覚障がい者に対し利用開放するとともに、操作方法等の指導を行なった。
- ④聴覚障害者情報提供施設内の受付・案内業務等、聴覚障害者情報提供施設にかかわる事務を行なった。

（2）期間：2024年4月～2025年3月

（3）場所：市視聴覚障がい者情報センター2階貸出室

（4）開室時間

曜 日	開室時間
月曜日・火曜日	9時15分～17時00分
水曜日・金曜日	9時15分～19時00分
木曜日	9時15分～18時30分

（5）貸出内容

①聴力障害者情報文化センター（東京）制作ビデオ等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出・視聴本数	0	12	7	11	11	6	1	1	3	2	4	0	58
利用人数	0	3	5	5	3	40	1	23	2	1	3	0	86
利用件数	0	3	6	5	3	3	1	1	2	1	3	0	28

②札幌市委託事業で札幌協が制作したビデオ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出・視聴本数	31	53	66	82	53	65	56	49	33	18	29	28	563

利用人数	153	224	31	63	48	82	104	88	18	63	69	14	957
利用件数	22	30	36	36	25	35	33	33	21	9	20	16	316

③情報機器利用貸出(ビデオ、DVD閲覧、IT閲覧、「目で聴くテレビ」閲覧、プロジェクター利用) (単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ビデオ閲覧	1	0	6	18	1	1	2	3	1	0	0	0	33
IT閲覧	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
目で聴く閲覧	0	0	0	12	1	1	1	3	2	2	3	2	27
手話学習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プロジェクター	16	23	24	26	29	28	38	26	7	14	17	12	260
OHC	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
合計	17	26	32	56	31	30	41	33	10	17	20	14	327

(6) 貸出対象者：北海道内に住所を有する次の者

- ①身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者（児）及び保護者
- ②聴覚障がい者関係団体、学校及び施設
- ③手話通訳に係るボランティアなど聴覚障がい者の福祉向上に関心がある者

2. 全国各地の聴覚障害者団体の機関紙閲覧

全国各地の聴覚障害者団体から送られてくる機関紙をビデオ・情報機器利用貸出室で自由に閲覧できるように随時、整理した。

3. 札幌市視聴覚障がい者情報センター 見学対応

(見学場所：ビデオ・情報機器利用貸出室、スタジオ、聴能言語訓練室、手話通訳者派遣室)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体(件)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
個人(件)	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
人数	0	0	0	4	3	5	0	16	0	0	8	0	36

IV 聴覚障がい者社会生活教室の開催

札幌市聴覚障がい者社会生活教室開催等事業（札幌市委託事業）

聴覚障害者の生活相談及び生活支援に対応し、必要な知識の習得や情報交換を目的とし行なった。

1. 聴覚障がい者社会生活教室の開催

障害者総合支援法の「生活訓練等事業」に基づき、①職場生活②コミュニケーションの方法③家庭の生活設計④育児⑤芸術、文化等一般教養⑥人間関係等に関する内容の教室を開催した。

期間：2024年4月～2025年3月

(年30回開催、うち協会各区支部で2回ずつ開催)

会場：市視聴覚障がい者情報センター・各区民センター他

参加対象：札幌市内存住で身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者

(1) 社会生活教室開催状況

月日	テーマ	講師 ※敬称略	参加者
4月7日	介護サービスってなに？	中島亜紀(札幌市中央区第1地域包括支援センター)	23名
4月18日	手話紙芝居	太田利実(元図書館司書)	20名
5月12日	モルックをやってみよう	高久雄(札幌市石山スポーツ振興会副会長)	9名
5月12日	防災とお片付け	鈴木早織(命を守るお片付け専門家・防災士)	9名
5月25日	スポーツウエルネス吹矢式呼吸法を学ぼう	工藤清司(南北海道スポーツウエルネス吹矢協会 会長)	10名
6月6日	ホームヘルパーってどんな仕事？	今野友子(介護福祉士)	20名
7月28日	災害への備え	藤澤誠(NPO 防災教育研究センター 赤鼻塾)	8名
7月28日	問題商法	星原智江(札幌市消費者センター)	9名
8月4日	スポーツウエルネス吹矢体験会	工藤清司(南北海道スポーツウエルネス吹矢協会 会長)	11名
8月4日	片付けのこころは整理から	竹腰みはる(生前整理アドバイザー)	13名
8月18日	季節の書を楽しみましょう	三股千恵(書写教室 指導者)	6名
8月22日	カーリンコン体験教室	松永守(北海道カーリンコン協会 副会長)他	17名
8月24日	書類の山を解消	渡辺夏代(整理収納アドバイザー)	11名
9月14日	ボッチャ教室	石川英仁(ドリームボッチャ札幌)	12名
9月28日	地震模擬体験	札幌市防災センター職員	6名
10月10日	あなたのまわりでこんな消費者トラブル起きてませんか？	齋藤さおり(札幌消費者協会消費者被害防止ネットワーク専門推進員)	18名
10月14日	アウトドアのスキルを防災に活かそう	水口綾香(NPO 法人防災したっけ代表)	20名
10月19日	災害模擬体験	札幌市防災センター職員	15名
10月20日	秋の自然観察会	松岡和樹・龍見瑞季(株式会社地域環境計画北海道支社)	15名
11月7日	わかりやすいスマホ教室	川村佑介(ソフトバンク株式会社北日本スマホ推進課専任講師)	16名
11月9日	陶芸教室	大石俊久・松浦功典(円山陶房)	6名
11月17日	巨大地震 切迫かも	竹田康生(札幌管区気象台 気象防災部長)	12名
11月24日	お正月リース作り	青野俊子(クラフトバンドエコロジー協会認定講師)	8名
11月24日	高齢者に必要な栄養	二川知里(分子栄養学アドバイザー)	10名
11月28日	つるつる路面の転倒予防	大西功基(北海道開発局開発建設部)	15名
1月26日	モルック体験講座	高久男(札幌市石山スポーツ振興会副会長)	20名
1月26日	内水氾濫とは？	水口綾香(NPO 法人防災したっけ代表)	10名
2月9日	モルック体験	高久男(札幌市石山スポーツ振興会副会長)	8名
2月11日	メイクレッスン・パート2	谷あつ子(メイクアップアーティスト)	8名
3月22日	新しい手話	若浜ひろ子(手話言語研究所 研究員)	36名

(2) 月別開催回数および参加者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	2	3	1	2	5	2	4	6	0	2	2	1	30
参加者数	43	25	20	17	58	18	68	67	0	30	16	36	398

(3) 支部別参加人数

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲
テーマ「災害関係」	9		8	6	20		15		10	
テーマ「その他」	6	12	10	11	15	7	10	11	8	11
テーマ「その他」		36			20			10		13
合計（延べ人数）	15	48	18	17	55	7	25	21	18	24

V 聴能言語訓練の実施

札幌市聴能言語訓練事業の実施（市委託事業）

コミュニケーション手段に著しい障がいをもつ聴覚障がい者に対し、その聴力の損失の程度により、残存聴力の活用、聴覚以外による言葉の習得の訓練を行ない、聴覚障がい者の自立を図るとともに社会の適応を高める訓練を実施した。

期間：年間82回

場所：市視聴覚障がい者情報センター聴能言語訓練室

訓練内容：聴力測定、補聴器のフィッティング、補聴器装用訓練、発声・発語訓練、日常生活訓練

対象：市内に居住する身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者・失語症者

①障がい別利用者数（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
聴覚障がい	2	4	4	2	2	2	2	2	2	1	2	2	27
中途失聴	2	4	3	3	3	2	3	3	3	2	3	2	33
重複障がい	6	8	6	7	5	6	6	6	7	3	6	5	71
言語障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
失語障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	10	16	13	12	10	10	11	11	12	6	11	9	131

②内容別利用者数（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内容概説	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴力検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構音	2	8	6	3	2	2	3	2	3	2	1	2	34
総合練習	6	14	6	7	5	6	6	6	6	3	6	5	70
読話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2	4	1	2	3	2	2	3	3	1	4	2	27
合計	10	16	13	12	10	10	11	11	12	6	11	9	131

Ⅵ 電話リレーサービス事業

電話リレーサービス事業の実施

(一般財団法人日本財団電話リレーサービス委託事業)

1. 電話リレーサービス通訳オペレーション業務

聴覚障害者が一人で電話を掛けられるよう電話リレーサービスの提供体制を構築することで、聴覚障害者の地域生活における自立の推進に資することを目的に実施した。

事業内容:聴覚障害者等による電話の円滑化に関する法律に基づいて聴覚障害者・難聴者・発話困難者の手話または文字ときこえる人の音声
を双方向に通訳するサービスを実施。

サービス提供日時:月曜～金曜 午前9時～午後7時

1日10時間(土・日・祝日・年末年始は休み)

期間:2024年4月1日～2025年3月31日

対象:きこえる人および電話リレーサービスの利用申請をした聴覚障害者

説明会・研修会	会場	月 日
電話リレーサービス全体定例会 (全国の電話リレーサービス実施事業所)	オンライン	4月22日(月) 5月28日(火) 7月25日(木) 9月19日(木) 2025年 1月23日(木) 3月18日(火)
電話リレーサービス手話事業所定例会 (全国の電話リレーサービス手話実施事業所)	オンライン	6月27日(木) 10月23日(水) 12月24日(火) 2025年 2月26日(水)
電話リレーサービス手話事業所・指導者研修 (全国の電話リレーサービス手話実施事業所)	オンライン	8月30日(金)
電話リレーサービス「札幌」オペレーター研修会	電話リレー実施拠点	7月27日(土) 12月21日(土) 2025年 3月8日(土)
	情報センター	11月2日(土)
令和7年度電話リレーサービス業務委託事業者 説明会 (全国の各事業所)	オンライン	2025年 1月10日(金)

2. 電話リレーサービス普及啓発事業

電話リレーサービスの普及啓発に向け、地域で電話リレーサービスの内容を聴覚障害者等へ説明し、希望者に対して登録サポートを行う。電話リレーサービス利用希望者の生活環境向上の一助となることを目的に実施した。

期間:2024年4月1日～2025年3月31日

受付窓口開所日：月曜～金曜 午前9時～午後5時

説 明 会 ・ 研 修 会	会 場	月 日
全道ろうあ者大会in室蘭ブース出展	室ガス文化センター	9月7日(土)～8日(日)
全国手話言語市区長会手話劇in旭川	旭川市公会堂	9月28日(土)
札幌ろうあ者文化祭典ブース出展	身体障害者福祉センター	10月6日(日)
根室市会場登録説明会	北方四島交流センター	10月27日(日)
小樽市会場登録説明会	小樽市総合福祉センター	10月27日(日)
小樽市障害福祉課訪問／行政・企業登録活動	小樽市障害福祉課	10月28日(月)
手話普及員研修会	大阪ろうあ会館	11月26日(火)～27日(水)
令和7年度電話リレーサービス普及啓発員事業説明会	オンライン	2025年 1月30日(木)
北見市会場登録説明会	北見市民会館	3月22日(土)
網走市会場登録説明会	網走市総合福祉センター	3月23日(日)

VII 聴覚障害者情報提供施設事業運営会議

構成：札幌市視聴覚障がい者情報センター・札幌手話サークル連絡協議会・札幌手話通訳問題研究会・（公社）札幌聴覚障害者協会

期間：2024年4月～2025年3月（年間2回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月 日
1	2024年7月22日（月）対面形式
2	2025年1月27日（月）対面形式

時 間：15：00～17：00

出席者：札幌市視聴覚障がい者情報センター 椎名政俊所長

札幌手話サークル連絡協議会 宮本英行会長（第1回）

中村博子副会長（第2回）

札幌手話通訳問題研究会 太田利実副運営委員長

（公社）札幌聴覚障害者協会 渋谷雄幸理事長

京野大樹常務理事兼事務局長

宮内博子理事

亀田雅春職員

内 容：聴覚障害者情報提供施設で行う事業（貸出・制作・社会生活教室・聴能言語訓練）、カルチャーナイト、情報センターの備品

の更新などについて、報告・要望・意見交換などを行った。

VIII その他（会議等）

- ①特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会
2024(令和6)年度総会及び第20回(通算第32回)施設大会
- 期間：2024年6月13日（木）～14日（金）
場所：みやぎハートフルセンター（宮城県仙台市）
内容：6月13日13：30～16：00
施設長会議「事務局体制の確立と今後の協議会のあり方について」
6月14日（午前）2024年度 総会・第20回 施設大会
（午後）シンポジウム
「評価基準を活用した支援の底上げについて
（調査・研究事業に基づいて）」
厚生労働省 自立支援振興室 室長補佐 吉本信治 氏
全日本ろうあ連盟 理事長 石橋大吾 氏
相談支援担当者研修員
出席者：京野大樹常務理事兼事務局長（札幌市視聴覚障がい者情報センタ
ー所長代理）、渋谷梯子課長
- ②全国聴覚障害者情報提供施設協議会令和5年度第1ブロック（北海道・東北
地区）活動研修会
- 日時：2024年11月1日（金）10：30～15：00
場所：宮城県聴覚障害者情報センター（オンライン参加）
内容：午前 協議 ブロック活動研修会について等
午後 講演「聴覚障害者情報提供施設の運営について」
講師 特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会
副理事長 太田裕之 氏
出席者：京野大樹常務理事兼事務局長（札幌市視聴覚障がい者情報センタ
ーセンター長代理）、渋谷梯子課長
- ③カルチャーナイト2024
- 日時：2024年7月19日（金）16：00～19：00
聴覚障がい者の情報機器コーナー
手話・字幕付き映像や目で聴くテレビの閲覧、聴覚障害者の日常生活
用具の展示、テレビ電話体験

【公3】啓発・広報事業

I ろうあ者への理解促進を図る「耳の日市民のつどい」の開催

3月3日の耳の日を記念して、聴覚障害者と手話を学ぶ市民、また一般の市
民の方々と手を取り合って明日への生きる喜びを分かち合い、市民に対して、
ろうあ者の存在と理解を広げる啓発を目的として行った。

耳の日事業「第47回耳の日市民のつどい」

期日：2025年3月2日（日）

会場：道立道民活動センター[かでの2・7] かでのアスビックホール

内容：記念講演「ろう者の国際活動を通して」

講師：山本 真記子 氏

参加人数：来場型259名（一般 153名、会員 106名）

オンライン型22名（一般 15名、会員 7名）

対象：聴覚障害者、賛助会員、一般市民等

記念講演では、さまざまな国際活動の経験を持つろう者の山本真記子氏をお迎えして、ハイブリッド型（来場とオンライン）での方法で開催した。

交流事業や留学に参加したきっかけ、海外で出会ったろう者や関係者との交流、各国のろう者の現状、そして国際活動の意義についてお話していただいた。その講演から、幅広い分野で積極的に挑戦する姿勢が伝わり、参加者に大きな刺激を与えた。

アトラクションでは、ネパール在住のろう者とオンラインで中継をつなぎ、トークショーを実施した。ネパールのろう者の教育や就労の現状について、山本氏の国際手話による通訳を通して知る機会となった。参加者からは、「海外のろう者が抱える課題について学ぶことができた」「国際手話を学んでみたい」といった感想が寄せられた。

Ⅱ ろうあ者と聞こえる人の交流の場となる「札幌ろうあ者文化祭典」

私たちろうあ者のコミュニケーションと文化の窓であり、ひいては社会的権利とも深い関わりを持つ「手話」を、福祉関係者・教育関係者・医療及び職場の方々など多勢の市民に理解していただき、お互いに自由に心を通わせることをめざして企画を立てた。

1. 文化祭典事業「第49回札幌ろうあ者文化祭典」

期日：2024年10月6日（日）

会場：札幌市身体障害者福祉センター

対象：聴覚障害者、手話サークル員、手話通訳関係者、手話を学ぶ市民等

今年は「手話でつながる 笑顔・絆」をテーマとして文化祭典を開催した。メイン会場である体育館は多数の模擬店およびグルメコーナー、大会議室では、各団体によるポスター展示・写真展、電話リレーサービス啓発、NET119啓発・登録支援コーナーを設置した。

また「体験手話教室」・「体験通訳場面」を行ない、手話関係者に限らず一般の市民の方がたくさん参加され、言語である「手話」に触れ合う様子が見られ、「手話」がたくさんあふれ、輝く現在を体現することができた。

2. 札幌ろうあ者文化祭典実行委員会の開催

期間：2024年6月～10月（5回）

場所：市身体障害者福祉センター

回	月 日	内 容
1	6月19日（水）19時～	テーマ案、電気の使用、役割分担
2	7月17日（水）19時～	テーマ決定、バザー、各室の配置について
3	8月21日（水）19時～	お楽しみくじ、ゴミの色分け、配置について
4	9月18日（火）19時～	当日の流れ確認

5	10月16日（水）19時～	反省会
---	---------------	-----

Ⅲ 聴覚障害者に関する研修会等の開催

聴覚障害者の福祉増進のために必要な調査と研究を進め、聴覚障害者への理解を深める啓発活動を進めるために研修会へ参加した。

1. 聴覚障害者の福祉増進に寄与する研修会、フォーラム等の開催参加

（1）公益社団法人北海道ろうあ連盟道央ブロック研修会

期日：2024年7月13日（日）

場所：北広島市広葉交流センター「いこ～よ」

テーマ：「韓国ろうあ者協会大田広域市協会と交流派遣団のお話」

講師：渋谷 雄幸 氏・野口 和伸 氏

出席者：渋谷雄幸理事長、中和彦副理事長、森恵子理事、宮内博子理事、福岡静枝理事、野口和伸理事、新田由香理事

（2）2024年度公益社団法人北海道ろうあ連盟 合同研修会への参加

期日：2024年7月27日（土）・28日（日）

場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター

他、オンライン参加（4会場）

内容：1日目 報告会

①「第1回全国福祉担当会議の報告」

②「組織部代表者会議の報告」

③「全日本ろうあ連盟 第12回評議員会の報告」

2日目

①「各協会からの報告（取り組みと課題）」

②「意見交換、全体会」

派遣者：渋谷雄幸理事長、高嶋正博副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、佐藤正昭理事、泉隆行理事

（3）2024年度 北海道ろうあ連盟スポーツリーダー育成 研修会

主催：公益社団法人北海道ろうあ連盟スポーツ委員会主催

期日：2025年1月19日（日）

場所：道立道民活動センター（かでの2・7）730研修室

講演「デフリンピックに参加して想ったこと」

パネラー：高畑美優治氏（スキー）、手塚清貴氏（バスケットボール）、佐藤隆氏（サッカー）、宮村章弘氏（カーリング）

派遣者：中和彦副理事長

（4）第27回ろうあ者労働問題フォーラムへの参加（主催：北ろう連）

期日：2024年11月10日（日）

場所：道立道民活動センター（かでの2・7）730会議室

講演：「手と手の今 釧路聴力障害者協会の取り組み」

講師：蛸崎 日出雄 氏（（一般）釧路聴力障害者協会 理事長）

派遣者：中副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、越智誠理事、宮内博子理事

（5）第25回ろう教育フォーラムin北海道への参加

期日：2024年8月4日（日）

場所：道立道民活動センター（かでの2・7）520研修室・オンライン
講演：「セルフアドボカシーについて」
講師：堀米 泰晴 氏（（一般）全日本ろうあ連盟 教育文化委員会 委員長）
内容：午前 講演
午後 パネルディスカッション
派遣者：渋谷雄幸理事長、高嶋正博副理事長、中和彦副理事長、
京野大樹常務理事兼事務局長、佐藤正昭理事、宮内博子理事、
若浜ひろ子理事、東出昇監事、福島太郎監事

2. 第17回札幌合同研修会（札幌協・札幌研）

（1）第17回札幌合同研修会の開催（ハイブリッド形式）
札幌協と札幌研の共催による研修会を開催し、共通する課題に取り組み、
今後の各団体の組織的活動に活かすことを目的として開催する。
期 日：2024年11月30日（土）・12月1日（日）
会 場：札幌市視聴覚障がい者情報センター 大会議室・研修室
参加者：137名（会員88名、一般47名、学生2名）
内 容：1日目 講演「能登半島地震～被災地の現状と課題～」
2日目 午前：パネルディスカッション
「災害や地震の経験や安否確認のことを話し合おう」
午後：お楽しみ企画「災害に関する知識や体験とクイズ」
講 師：山科 孝良氏（石川県聴覚障害者災害救援対策本部事務局長）

【組織部】

ハイブリッド形式（対面・オンライン）による開催した。1日目、社会情勢を考慮して開催時間を早めることにした。山科講師より能登地震の様子や対策について講演いただいた。震災時、耳の聞こえない人は、避難に苦労することが多くあったことを改めて認識できた。

午後は、パネルディスカッションとグループワークを行い、聴覚障害者の災害に向けて防災マニュアルを作るために協議している支部がおられ、それを発表していただき、改めて再確認のできるいい機会だった。来年度の内容について実行委員会にて検討していきたい。

IV 「H S K札幌障（札幌聴覚障害者協会新聞）」の発行

「H S K札幌障」の発行事業

聴覚障害者のため幅広く福祉を提供するとともに聴覚障害者に対する理解と啓発を促すため、機関紙「H S K札幌障」を発行した。

期間：2024年4月～2025年3月（毎月1回発行・年間12回）

発行部数：650部

対象：札幌市内の聴覚障害会員、賛助会員、購読会員、行政、関係機関等

2024年度発行内容：以下、1面見出し

4月号	（社）韓国ろうあ者協会大田広域市協会と5年ぶりに交流
5月号	2024年度は…6つの区支部が創立50周年を迎えます
6月号	～今の社会ができたのは会員のみなさんのおかげ！～誇りを持って！～

	第14回定時社員総会開催
7月号	全国から和歌山に2,530人が集う！！ 第72回全国ろうあ者大会in和歌山
8月号	支部制になりろうあ運動を重ねて…半世紀 北区・西区支部それぞれ創立から50年を祝う
9月号	ブルーライトアップを見に行こう！！ 9月23日は手話言語の国際デーをお祝いしよう
10月号	白鳥大橋のある地～「室蘭」に688名が集う！ 第65回全道ろうあ者大会in室蘭
11月号	第49回札幌ろうあ者文化祭典開催 手話でつながる笑顔・絆を感じた1日に
12月号	東区支部・白石区支部創立50周年おめでとう
1月号	2025年新年のあいさつ
2月号	— 東京2025デフリンピック開催記念の年に誓う — 5年ぶりに新年交礼会を開催
3月号	みんなで守ろう！介護事業 デイサービスほほえみ白石の閉鎖を受けて…

【広報部】

- ・新年号を除き、毎号、札幌協事業に関する情報を掲載した。随時、札幌聴覚障害者協会各区支部、専門部等の社会生活教室の呼びかけや報告を掲載した。
- ・これまで発注していた印刷会社が事業停止し、印刷会社変更による都合上、5・6月号の発行が遅くなり、ご心配をおかけした。
- ・7月号で600号発行を達成した。
- ・引き続き聾史に関する連載も掲載する。
- ・4コマ漫画は担当者の退職により、一旦終了となった。
- ・感想や掲載希望などあれば、事務局まで寄せてほしい。

V インターネットでの各種情報の提供

情報を随時更新し、聴覚障害者への理解を深め、札幌協の事業を広める啓発活動を独自に制作した内容でインターネットにより進めた。

1. ホームページ「公益社団法人札幌聴覚障害者協会」

「ワードプレス」を活用し、各部署において、ホームページを更新した。ただのPRではなく、動画を活用して申込増につながるよう、努力した。

2. Instagram（インスタグラム）の活用

SNSを活用してPRを行うために、公益社団法人札幌聴覚障害者協会のInstagram（インスタグラム）を開設し、写真だけではなく、動画も活用し情報発信に努めた。

フォロワー数（2025年3月31日現在 309名）

3. 札幌協情報メール

メール配信希望の会員に対し、情報提供のメールを随時発信した。

市長会見にこだわらずに行事に関するご案内や、詐欺等にかかわる注意の

メールを発信した。

2024年度発信数：No.1325～1414 89件

※登録者数：正会員 112名・賛助会員 53名

【収益等事業】

【収1】出版事業

1. 出版事業

手話を学ぶために必要な書籍や聴覚障害に関する書籍を販売した。

※下記に特に売り上げの多かった書籍を掲載。（2024年度売上状況）

書籍名	発行者	販売数
I 小売販売		1,390冊
1) 全日本ろうあ連盟発行書籍		1,338冊
① 【改訂版】手話を学ぼう手話で話そう		457冊
② 手話奉仕員 講義テキスト及び指導書		480冊
③ ハンドブック8種		252冊
④ わたしたちの手話辞典Ⅰ・Ⅱ		56冊
⑤ 新しい手話（2024）（2025）		93冊
2) 北海道ろうあ連盟発行書籍		275冊
① 2024年手話カレンダー 大		103枚
② 2024年手話カレンダー 小		172枚
3) その他団体等発行書籍		52冊
① 手話・言語・コミュニケーションNo.12, 13	全国手話研修センター	52冊
II 札幌聴覚障害者協会制作販売		1,079冊
さっぽろの手話（三訂）		948冊
さっぽろの手話（医療編）		42冊
さっぽろの手話（販売・接客編）		25冊
さっぽろの手話見るエッセイ第一巻		27枚
さっぽろの手話見るエッセイ第二巻		37枚

今年も各講習会、研修会、各行事など販売の機会もあり、各種書籍の売上は好調。札幌市講習会の受講生数が増えたのも売上増につながっている。新刊もハンドブックシリーズが8種類になり好評。

【収2】飲料自販手数料事業

1. 飲料自動販売手数料事業

公共施設等に飲料自動販売機を設置し、施設利用者の利便性を図るとともに、その手数料を得る事業を行なった。管理及び補充作業は清涼飲料水販売業者に委託した。

自動販売機設置個所は31ヶ所。（2024年度）

設置先	区	飲料会社	設置先	区	飲料会社
-----	---	------	-----	---	------

1	市身体障害者福祉センター	西	キリン・大沼・P S・コカコーラ	17	栄地区センター	東	キリン
2	北区体育館	北	P S	18	厚別南地区センター	厚別	大沼
3	東区体育館	東	大沼	19	手稲曙温水プール	手稲	キリン
4	豊平区体育館	豊平	大沼	20	もいわ地区センター	南	大沼
5	南区体育館	南	大沼	21	白石東地区センター	白石	大沼
6	西区体育館	西	キリン	22	星置地区センター	手稲	大沼
7	清田区民センター	清田	キリン	23	白石区複合庁舎	白石	キリン
8	手稲コミュニティセンター	手稲	キリン	24	清田区体育館・プール	清田	大沼
9	市社会福祉総合センター	中央	キリン (3カ所)	25	清田区役所	清田	キリン
10	手稲区役所	手稲	キリン	26	札幌市下水道河川局	豊平	大沼
11	厚別区役所	厚別	大沼	27	中島体育センター	豊平	キリン
12	平岸プール	豊平	キリン (2カ所)	28	すみかわ地区センター	南	P S
13	中央図書館	中央	キリン	29	手稲区民センター	手稲	キリン
14	西野地区センター	西	キリン	30	スポーツ交流施設 (つどーむ)	東	株式会社 アペックス
15	中央健康づくりセンター	中央	大沼	31	札幌市視聴覚障がい 者情報センター	中央	キリン・ 大沼
16	はっさむ地区センター	西	キリン				

※キリン＝キリンビバレッジ、P S＝P S ビバレッジ

2024年度は、猛暑の影響により、夏の間は売上が増加しており、特にイベントが開催されやすい場所（特につどーむ）は売上アップの機会が多くあり増収につながっています。

また改修工事のため中央健康づくりセンターが2025年4月末まで休館しており、その期間は収入がありません。

【収3】さっぽろ聴覚障害者介護支援センター事業

I デイサービスほほえみ白石

①地域密着型通所介護 及び 第1号通所事業

(介護保険指定事業 及び 札幌市介護予防・日常生活総合支援事業)

※指定開始日 2020年6月1日・2020年5月1日

②共生型生活介護 (障害者総合支援法)

※指定開始日 2020年4月1日

期間：2024年4月～2025年1月 (閉鎖)

場所：白石区菊水元町5条1丁目9-8

1. 事業内容

利用者一人一人の意思及び人格を尊重し、手話でのコミュニケーションを保障しながら利用者の立場に立ったサービスを実施する。利用者の心身機能の維持向上や社会的孤立感の解消並びに家族の身体的、精神的介護負担の軽減を図り、利用者の住み慣れた地域での在宅生活を支援した。

(1) 地域密着型通所介護及び第1号通所介護

要介護・要支援状態にある人が、可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、デイサービスに通い、健康チェックや機能訓練、入浴、レクリエーション等の支援を行った。

(2) 共生型生活介護

障害がある人が自立した日常生活または社会生活を送ることができるよう、デイサービスに通い、食事や入浴、レクリエーションの他、身体機能や生活能力の維持向上のための訓練、創作活動等の支援を行った。

【2024年度 登録者の推移・通所回数内訳】

月	登録者数			通所サービス利用延べ回数			
	新規	終了	合計	介護保険		障害福祉	合計
				通所介護	総合事業	生活介護	
4月	2	0	21	63	21	17	101
5月	2	0	23	73	24	24	121
6月	0	1	22	70	22	26	118
7月	1	0	23	68	25	39	132
8月	1	0	24	63	19	29	111
9月	1	1	24	74	22	36	132
10月	1	2	23	78	29	46	153
11月	0	0	23	70	21	45	136
12月	0	2	21	59	24	44	127
1月	0	0	21	52	20	47	119
計	8	6	21	670	227	353	1,250

2. 利用者の状況

【居住区別】

住居区	白石	東	豊平	北	手稲	厚別	南	清田	中央	西	計
(人)	3	7	1	4	0	4	1	0	1	0	21

【要介護度・障害区分別】

要介護度 (人)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
	2	2	7	1	1	0	0	13
障害区分 (人)	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他	計
	0	1	1	5	0	1	0	8

【性別・年齢別】

年代 (人)	40代	50代	60代	70代	80代	90以上	平均	47歳～ 100歳	男	女
	1	1	2	10	6	1	68.65		7	14

3. デイサービスほほえみ白石運営推進会議

期間：2024年4月～2025年1月

会場：デイサービスほほえみ白石

構成：利用者・町内会・地域包括支援センター・ほほえみ白石職員

月日	実施事業名等	内容概要
8月7日	第1回運営推進会議	自己紹介、施設案内、設立の経緯説明 現況報告、情報・意見交換

(年2回予定だったが閉鎖のため開催は1回のみ)

4. 研修受講

職員の資質向上のため、各種研修に参加及び自主開催し、研鑽に努めた。

	月 日	内 容	受講者数
外 部	12月18日	認知症サポーター養成講座(札幌市社会福祉協議会)	1
内 部	4月11日	送迎マニュアル・福祉車両の操作実習	7
	5月18日	身体介助技術「入浴介助」	7
	7月26日	B C P (業務継続計画) 「自然災害」	7
	8月23日	B C P (業務継続計画) 「感染症」	6
	9月20日	認知症について	5
	10月18日	高齢者の結核について	4
	11月16日	法人全体職員研修	5

5. 行事等企画

利用者の余暇活動の支援を目的として、様々な企画を実施した。

月	日	行事名	場所
4	1～5	開所4周年記念 食事会	デイルーム・ ほほえみカフェ
	22	ミニ講座「水をのもう」	デイルーム
	30～5/1	お花見	豊平川桜の杜
5	13	ミニ講座「口のはたらき」	デイルーム
	20～24	おやつ作り	デイルーム
6	4	ハンドトリートメント体験	デイルーム
	5	ほほえみの郷と交流食事会	ほほえみカフェ
	17～21	外出レク	川下公園
7	1～5	ミニ講座「熱中症予防」	デイルーム
8	5	ミニ講座「薬について」	デイルーム
	5～9	夏まつり	デイルーム
9	5	ミニ講座「転倒・骨折予防」	デイルーム
	9～13	敬老会	デイルーム
10	7～11	体力測定	デイルーム
	21～25	外出レク	イオン東苗穂店 雪印メグミルク工場 平岡樹芸センター
	31	ハンドトリートメント・マッサージ	デイルーム
11	7	ミニ講座「血圧と脈のしくみ」	デイルーム
	19	作業所と合同防災訓練	札幌市民防災センター
12	19～25	冬至・クリスマス・年越し	デイルーム
1	6～10	新年会	デイルーム
	27～31	お別れ会	デイルーム

※他、毎月1回「買物外出レク」と週1回「買物訓練」を実施

6. 職員等体制（2025年1月31日現在） 計7名

常 勤 3名	管理者兼生活相談員 1名 生活相談員兼介護職員 1名 介護職員 1名
非常勤 3名	看護職員 1名 介護職員 2名 （内、送迎専門職員1名）
アルバイト 1名	厨房担当 月4回

7. ボランティア

利用者が安全に過ごせるよう、主にレクリエーション等の見守りと職員のサポートをして、デイサービスの活動を支えてくれた。

いつ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
延べ	7人	9人	13人	14人	13人	12人	15人	13人	12人	13人

8. サービス提供時間の変更

事業の経営改善のため、サービス提供時間を変更し30分延長した。

（令和6年10月1日より）

【変更内容】

サービス提供時間 5.5時間 10：00～15：30

→ 6時間 9：30～15：30

9. 今年度の成果・反省

- （1）感染や転倒等の予防対策を図りながら、利用者の健康維持と身体の状態にあわせたレクリエーションを工夫し、安心して楽しく過せるように努めた。
- （2）経営改善のため、理事会の承認を経て、令和6年10月1日からサービス提供時間を30分延長した。利用者や家族に運営維持のための協力をお願いし、ケアマネや行政への手続きを行った矢先の11月に閉鎖の決定となり、利用者や家族、ケアマネ、関係各所に迷惑をかけてしまった。理事会と現場の協議不足が反省点である。
- （3）閉鎖に伴う利用者のサービス移行について、同法人の事業所や他のデイサービスへの移行を、ケアマネが中心となり、情報提供をしながら調整を行った。同法人内の職員とも検討を重ね、閉鎖時点で、約3割が同法人内でのサービス移行、約4割が他のデイサービスへ移行、約3割が在宅支援サービスへの移行や後日同法人内の事業所を見学となった。
- （4）今後、さらに進む『超高齢社会』の中で、ろう高齢者が取り残されることなく介護保険の被保険者の1人として平等に介護を受ける権利保障の問題は、当事者団体として協会が考えていかなければならない課題である。

II サービス付き高齢者向け住宅事業

高齢の聴覚障害者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、聴覚障害者向けの設備を完備し、コミュニケーションの配慮が行き届く住宅を開設し、管理・運営を行った。

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷
 登録番号：札一16第12号（2016年8月19日登録）
 期 日：2024年4月～2025年3月
 場 所：札幌市手稲区稲穂2条7丁目5-7
 介護事業：小規模多機能型居宅介護事業所併設
 提供サービス：安否確認、生活相談、食事提供

1. 入居状況（2025年3月31日現在） 定員：20戸／24名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当月入居数(人)	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
当月退去数(人)	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
入居戸数計(戸)	19	20	20	20	19	19	20	20	20	20	20	19
入居者数計(人)	21	22	22	22	21	21	21	21	21	21	21	19

2. 入居者状況（2025年3月31日現在）

【性別・年齢別】

年代	60代	70代	80代	90代	平均	72歳～	男	女
人数	0	3	10	6	86.05歳	98歳	9	10

【要介護度別】＊平均要介護度：要介護1.05

要介護度(人)	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
	1	2	4	6	3	2	1	0	19

【夫婦等世帯数】

夫婦世帯	1世帯	単身世帯	18世帯
------	-----	------	------

3. 職員等体制（2025年3月31日現在） 計17名

常勤兼務 5名	所長 兼 生活相談員 1名 生活支援員 4名 ※いずれも、ほほえみ手稲介護職員と兼務
非常勤兼務 6名	生活支援員 6名 ※いずれも、ほほえみ手稲介護職員と兼務
アルバイト 7名	食事準備・片付 6名 清掃 3名（うち2名、食事準備・片付と兼務）

4. 今年度の成果・反省

- 今年度は4名の看取り支援を行い、職員が最期を見守った。ご本人が迎えたい最期を支えるには、ご本人の希望を事前に聞き取っておくこと、ご本人の生活習慣を把握すること、そして残るご家族との連携が不可欠である。
- 入居者や職員が札幌協関連事業や近隣地域の行事に参加する等、施設外との関わりを持てる取り組みがなかなか進んでいなかったが、今年度初めて「夏まつり」を開催し、町内会の方々にご参加いただいた。行事を通し

が地域とのかかわり続けながら、地域に愛される施設づくりに努めたい。

- (3) ボランティア見学会を今年度も開催した。見学会の日程に土曜日を加えたことで、昨年度よりも多くの方に来ていただくきっかけとなり、定期的に通ってくださるボランティアが増えた。今後も手話学習者を中心に、ボランティアの呼びかけを行いたい。

Ⅲ 小規模多機能型居宅介護事業

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷に併設し、介護の支援が必要な入居者及び近隣地域の住民に対し、サービスを提供した。

小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲（事業所番号 0190400697）

指定開始日：2017年4月1日（指定通知書発行日：2017年3月27日）

事業：地域密着型小規模多機能型居宅介護及び

介護予防小規模多機能型居宅介護

場所：手稲区稲穂2条7丁目5-7

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷 1階

面積：100.40㎡

定員：登録24名、通い12名、泊り4名

1. 登録状況について

【登録状況の推移】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録者数(人)	22	23	23	23	23	22	23	22	22	22	22	22
登録率(%)	92	96	96	96	96	92	96	92	92	92	92	92
新規	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
再開	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
休止	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
終了	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2

【登録終了者の状況等】（2025年3月31日現在）

区分	施設入所	入院	その他	計
人数(人)	0	0	4	3

2. 登録者の状況（2025年3月31日現在）

【住居区別】

住居区	白石	東	豊平	北	手稲	厚別	南	清田	中央	西	計
(人)	0	0	0	0	18	0	0	0	0	2	20

【要介護度別】＊平均要介護度：要介護1.54

要介護度(人)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
	2	4	6	5	2	1	0	20

【性別・年齢別】

年代	60代	70代	80代	90代	平均	71歳～ 97歳	男	女
人数	0	3	12	5	85.5歳		9	11

3. サービス提供状況について

【サービス利用延べ回数及び一人当たりの月平均利用回数】

	通い	訪問	宿泊	延回数	月平均回数
4月	357	1564	0	2075	20
5月	386	1832	0	2040	22
6月	385	1805	0	2056	22
7月	426	1870	0	2078	23
8月	330	1654	0	2066	19
9月	321	1577	0	1840	20
10月	293	1474	0	2032	17
11月	289	1375	0	1899	18
12月	188	1315	0	1843	16
1月	228	1378	0	1865	18
2月	297	1476	0	1667	20
3月	365	1600	0	1775	20
計	3865	18920	1	22786	236

※月平均回数＝サービス提供延べ回数÷（当月日数×登録者数）×7

※月一人当たり平均利用回数は、週4日以上のため

4. （介護予防）小規模多機能型居宅介護（短期利用型）

利用者の状態や家族等の事情により緊急に利用することが必要であると認め、登録定員の範囲内であり、サービス提供に支障がない場合、空いている宿泊室等を利用し、短期間のサービスを提供するものである。

今年度は利用がなかった。

5. 自家用有償旅客運送（福祉有償運送）

小規模多機能型居宅介護の登録者を会員とし、設定した料金において、車で数分の距離にある医療機関等へ個別輸送を行なった。

期間：2024年4月～2025年3月

対象：小規模多機能型居宅介護の登録者

体調、ケガ、筋力低下等による歩行困難などで、外出時に介助を要する人

距離	料金	備考
1km未満	100円	近隣の医療機関・店舗
1km～2km未満	300円	

料金：	2kmから500m毎	プラス50円	
-----	------------	--------	--

【稼働状況】

	回数	距離 (km)	目的		
			受診	買い物	その他
4月	7	38.1	7	0	0
5月	3	3.2	3	0	0
6月	7	42.2	7	0	0
7月	4	16.9	4	0	0
8月	2	4.5	2	0	0
9月	3	8.0	2	0	1
10月	2	4.0	2	0	0
11月	4	12.0	4	0	0
12月	1	0.6	1	0	0
1月	2	7.4	1	0	1
2月	5	18.2	5	0	0
3月	2	7.4	2	0	0
計	42	162.5	40	0	2

6. 小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲運営推進会議

期間：2024年4月～2025年3月（年間6回開催予定）

会場：ほほえみの郷1階 居間・食堂

構成：利用者・町内会・地域包括支援センター・手稲区支部・

手稲区手話サークル・ほほえみの郷職員・ほほえみ手稲職員

月日	実施事業名等	内容概要
5月15日	第1回運営推進会議	事業報告・自己紹介・今年度の予定お知らせ・意見交換
7月10日	第2回運営推進会議	事業報告・酷暑の対応について意見収集・意見交換
9月11日	第3回運営推進会議	事業報告・夏祭りの実施報告・意見交換
11月20日	第4回運営推進会議	事業報告・新型コロナウイルスクラスター報告・意見交換
1月22日	第5回運営推進会議	事業報告・かかりつけ医や往診医についての意見交換・意見交換
3月19日	第6回運営推進会議	事業報告・来年度へ向けた取り組み説明・意見交換

※年6回開催、奇数月に開催

7. 研修受講

	月 日	内 容	受講者数
--	-----	-----	------

内部	7月11日	身体の健康、なないろグラム①	6
	8月11日	なないろグラム②	5
	9月6日	なないろグラム③	4
	11月16日	法人全体職員研修	5
	2月19日	虐待・身体拘束防止研修	7
	隔週木曜日	手話部	複数

8. 行事等企画（ほほえみの郷・ほほえみ手稲）

入居者、利用者の余暇活動の支援を目的として、様々な企画を実施した。

月日	内容	場所	参加	内訳			
				手稲	郷	職員	他
4月2日	ほほえみ喫茶	ほほえみの郷	29	20	2	7	0
5月31日	外出レク	近隣の商店	3	1	—	2	0
6月3日	花見レク①	発寒イオン	8	4	—	4	0
6月4日	花見レク②	銭函・大山	9	5	—	4	0
6月5日	ほほえみ白石交流会	ほほえみカフェ	11	6	—	4	1
6月6日	花見レク③	岩見沢まなみーる	6	3	—	3	0
6月20日	花見レク④	市内ラーメン屋	3	1	—	2	0
7月26日	ミニ講演会	ほほえみの郷	23	16	2	5	0
9月13日	敬老会&ミニ運動会	ほほえみの郷	28	19	2	7	0
10月6日	札幌ろうあ者文化祭典	身体障害者福祉センター	4	15	2	8	6
11月18日	入居者会議&茶話会	ほほえみの郷	29	20	2	7	0
12月13日	Xmas会	ほほえみの郷	30	19	2	9	2
1月15日	鏡開き&おやつレク	ほほえみ手稲	11	7	—	4	0
2月4日	節分行事	ほほえみの郷	32	16	2	13	1
3月3日	おひな祭り	ほほえみ手稲	13	4	—	8	1

※他＝家族、ボランティア、講師、住民、通訳者など

9. 職員体制（2025年3月31日現在） 計13名

常勤 7名	管理者 兼 介護職員 1名 計画作成担当者 1名 看護師 1名 介護職員 4名（ほほえみの郷生活支援員と兼務）
非常勤 6名	介護職員 6名（ほほえみの郷生活支援員と兼務）

10. 今年度の成果・反省

（1）今年度は利用者4名の看取り支援を行なった。人の最期は、病気、認知症等それぞれの背景により異なる。利用者の負担がない安楽な最期をどのようにしたら支えられるかも、日々の支援の振り返りから常に考えなければならない。今後も看取り支援の機会はあると思うので、利用者の負担にならない支援かつ職員の負担が過重にならない方法を、常にコミュニケーションをはかりながら考えていきたい。

（2）職員によって意識、技術、気づきの差が顕著になってきた1年であった。モチベーション維持にも関わることであり、スキルアップを目指し、仕事の割り振りや、振り返りの声かけをしていかなければならない。

- (3) 職員間のコミュニケーションに関して、些細な行き違いが大きな齟齬となってしまうような場面が多々あった。行き違いが起こるのは仕方ないことだが、放って後に持ち越すことのないよう、その場で処理、解決できるよう、職員全体のコミュニケーション能力アップを目指したい。
- (4) Instagramの運用が疎かになりつつあった。SNSはこまめな更新が反響に繋がっていくものなので、会議等での声かけを続け、更新に努めたい。

IV 介護支援センター共通

1. 職員の資格保有状況（2025年3月31日現在）

	介護支援専門員	介護福祉士	初任者研修等	看護師	無資格
常勤	1	4	3	1	0
非常勤	0	2	4	0	0
計	1	6	7	1	0

2. 広報

- ①毎月発行するH S K札幌紙へ活動状況を掲載、発信した。（計11回）
- ②各事業所合同の機関紙「さっぽろ聴覚障害者介護支援センター通信」を発行し、関係者に配布し情報発信を行なった。（計4回）
- ③Instagram（インスタグラム）とFacebook（フェイスブック）のページで日頃の情報配信に努めている。

3. その他

- ①職員の健康診断と特定診断を予定通り行なった。（年1回）

V さっぽろ聴覚障害者介護支援センター事業運営委員会

期間：2024年4月～2025年3月（年間3回開催）

時間：19：00～20：45

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	出席	回	月日	出席
1	2024年5月10日(金)	10名	3	2025年1月24日(金)	9名
2	9月27日(金)	10名			

構成：団体等個人に運営委員を委嘱

札幌手話サークル連絡協議会：久保田昭人氏、中村博子氏

札幌手話通訳問題研究会：近間諒一氏、宮本ゆかり氏

聴覚障害者支援センターほほえみ後援会：田村玲子氏、三澤美紀子氏

（公社）札幌聴覚障害者協会：高嶋正博副理事長、森恵子理事

担当職員：樋口あやこセンター長兼サ高住ほほえみの郷所長

有山将大所長（小多機ほほえみ手稲）

中村千恵所長（デイサービスほほえみ白石）

内容：センター事業（デイサービス、サ高住、小規模多機能型居宅介護）の現況報告および意見交換を行った。

VI 「虐待防止委員会」および「身体拘束適正化委員会」開催

(聴覚障害者支援センターほほえみと合同開催)

※詳細はP 42を参照

VII 「感染症対策委員会」開催

(聴覚障害者支援センターほほえみと合同開催)

※詳細はP 42を参照

【他 1】相互扶助事業

I 支部・青年部・女性部・高齢部等における各種行事の実施

1. 支部事業

(1) 専門部会議での会計部、組織部、情報・コミュニケーション部会議

開催：毎月第1火曜日19：00～20：30

月1回のうち実施した会議9回（5月、8月、1月は休み）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月 日	回	月 日
1	2024年4月2日	6	11月5日
2	6月4日	7	12月3日
3	7月2日	8	2025年2月4日
4	9月3日	9	3月4日
5	10月1日		

①札幌聴覚障害者協会会員数

	2024年4月1日	2025年3月31日	増減	備 考
正会員	351名	342名	-9	入会8名・退会17名 ※退会理由：市外転出、自己都合ほか
賛助	82名	85名	+3	

②区別会員数

(単位:名)

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	市外	計
正	17	74	60	34	26	22	13	14	41	41		342
賛助	9	5	13	6	10	3	4	6	12	11	6	79

③年代・性別別会員数(正会員)

(単位:名)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計
男性	1	4	10	19	28	40	63	18	3	186
女性	0	7	10	14	26	38	41	17	3	155

④HSK札幌聴障購読者数(有料購読者)

	2023年3月31日	2024年3月31日	2025年3月31日	増減
--	------------	------------	------------	----

市内	108名	81名	94名	+13名
市外	27名	30名	23名	-7名
道外	0名	0名	1名	+1名
合計	135名	111名	118名	+7名

⑤日本聴力障害新聞購読者数(札幌市内)

2023年3月31日	2024年3月31日	2025年3月31日	増減	※札幌協事務局での 新規購読 申込受付数：7名
200名	206名	197名	-9	

⑥季刊MIMI購読者数

2023年度	2024年度	増減
31名	30名	-1

【組織部】

専門部会議について

毎月第一火曜日（1月、5月休み）に開催した。会議では、札幌協と各支部の間、情報提供や活動報告をしながら、下記の通り意見交換をした。

- ◆協会経営が厳しい状況にあるといえ、各支部から建設的な意見が多く出た。
 - ・支部のイベントなどで売上の中から寄付の協力をいただいた。
 - ・資金集め方法について支部に持ち帰り協議し、提案いただいた。
- ◆本年度会員の退会者数は17名であった。退会者数が入会者数を上回っている状態が懸念され、意見交換を行っている。
- ◆減少の主な要因は、少子高齢化による自然減に繋がっているが、特に30～50代の方が別の都合で退会するのが相次いでいるとの報告があった。
 - ・クラブを退会のため
 - ・活動していないから
 - ・経済的な理由
 各支部より意見を聞き、方向性をきちんと見出していきたい。
- ◆日聴紙の購読者数は、206名。2年前から同様に横ばい状態である。
- ◆会員のニーズを把握しながら、日聴紙の購読者数と会員拡大に繋げていきたい。
- ◆手話サークルに通う非会員について
 - ・非会員が手話サークルに通っていると報告があった。
 可能であれば、サークルと支部の間で協議していただき、当協会の入会の働きかけるよう協力をお願いする。

（2）区支部（中央・北・東・白石・厚別・豊平・清田・南・西・手稲）
が取り組む調査・研究や学習会等の活動を支援する事業

各区支部事業報告

区支部	行事事業名				
中央	9月 創立50周年記念		12月7日忘年会		
北	7月創立50周年記念		1月 新年会		
東	7月フロアカーリング交流会		11月創立50周年記念	12月 合同クリスマス会	
白石	9月秋の交流会	10月創立50周年記念		12月手話サークル&合同忘年会	
厚別	5月春の親睦	7月厚別区民	8月手話フェ	9月秋の親睦	12月忘年会

	会	まつり	スティバル	会	
豊平	7月防災体験&交流会	8月創立50周年記念	9月野外交交流会	12月忘年会	
清田	12月 忘年会				
南	6月円山動物園ハイキング	7月大道ビール交流会	10月南区民センター祭手話コーラス	12月クリスマスバザー	3月お疲れ様会
西	7月 創立50周年記念		12月 クリスマス会		
手稲	6月支部交流会	9月手稲神社祭餃子出店	12月ボウリング交流会	12月忘年会	

2. 青年部、女性部、高齢部等の各部が取り組む調査・研究や学習会等の活動を支援する事業

(1) 青年部事業

①青年部事業報告

日 程	行事名	参加人数
2024年7月13日	ダベリ場①『プール&温泉』 中止	—
2024年9月21日	ダベリ場②『BBQしようぜ』	23名
2025年2月11日	ダベリ場③『頭を使ってゲームに挑戦せよ!!』	7名
2024年12月21日	全青研inふくしま報告会	7名
2024年12月21日	クリスマス会	13名
2025年3月20日	デフリンピックを応援しよう!!	13名
2025年3月20日	第14回定期総会	7名

②青年部会議：年12回開催 会場：市身体障害者福祉センター

今年度の青年部活動を振り返ると、ダベリ場は当初、年間で3回実施予定だったが、参加申込者数が少なく、1回目は中止となった。しかし、これまでのダベリ場を通じて、青年部の存在を広く知ってもらう機会があり、非会員の方々に少しでも青年部の情報を提供できたことは、良い成果だと感じている。

例年、青年部の最大の課題は会員数の減少である。今年は青年部パンフレットや名刺を作成し、青年たちに配布することで、少しでも青年部の魅力を知ってもらうことができた。今後も引き続き、青年部の認知度を高めるために努力していきたい。

また、2025年度には、東京都、福島県、静岡県で開催される2025デフリンピックが、11月15日から26日まで行われる。私たち青年部は、この大会を盛り上げるため、積極的に支援していきたいと考えている。

さらに、2025年度は青年部が創立60周年を迎える節目の年である。この記念すべき年を祝うため、2025年12月7日（日）に創立60周年記念事業を開催することが決定した。このイベントに向けて、私たち青年部は準備を進めているので、ぜひ参加していただき、一緒に60周年をお祝いできることを願っている。今後ともよろしく願いいたします。

(2) 女性部事業

①女性部事業報告

日 程	行事名	参加人数
2024年8月28日(木)	第37回がん検診（札幌がん検診センター）	10名
10月6日(日)	第48回札幌ろうあ者文化祭典 「グルメバザー」	手伝い 18名
11月24日(日)	報告会	15名
2025年2月16日(日)	第14回定期総会	20名

三部交流会（休止）

②女性部会議：6回開催

役員会議：4回開催

会場：市視聴覚障がい者情報センター、市社会福祉総合センター、
市身体障害者福祉センター

③社会生活教室：2回

4月7日(日)「介護サービスってなに？」参加 23名

11月24日(日)「お正月リースを作ろう」参加 10名

④機関誌：年2回発行

今年度もがん検診を行うことができた。手話通訳者が付くこと、自身の健康を守るためにも定期的な検診の受診をするよう啓発する。グルメバザーや報告会等は女性ならではの視点で参加しやすい環境を作っていくよう努めたい。

（3）高齢部事業

①高齢部事業報告

日 程	事業名	参加人数
6月8日	パークゴルフ交流会は、東区ツドームパークゴルフ場で開催。昨年までのパークゴルフクラブとの共催から単独事業に変えて実施。18ホール制。 参加費300円	11名
7月13日	社会見学会 札幌市下水道科学館・創世川水再生プラザ→百合が原公園(昼食)	19名
7月14日 1月26日	高齢部・老人クラブ・ともの三者懇談会 超高齢化時代に関わる課題の話し合い	各団体から 4～5名出席
役員会開催	4・5・6・7・9・10・11・12・2・3月の第3水曜日	
11月7日	社会生活教室「スマホ教室」 (老人クラブと共催)	22名
スマホ・携帯・パソコンの所持について	正式な数字ではありませんが、おおむねでいうと携帯電話・スマホは総務省の調査より利用者は多く、パソコン利用者は少ないよう。	
3月20日	第14回代議員総会	出席17名 委任2名
老人クラブ 毎週木曜日	10時から12時まで開催 1.清掃美化活動。5月23日社会福祉総合センター前、21名参加。7月4日身体障害者福祉センター前3	

	2名、西区手話の会と合同。10月17日社会福祉総合センター前、26名。 2.雑巾寄贈(女子部で作成)[ほほえみの郷]へ100枚、「母子連合」へ100枚 3.花見会(5月2日)14名 4.開拓の村見学(6月13日)15名。 5.道の駅ツアー(9月26日)19名。 6.一泊研修会(10月24日)13名。駒岡保養センター 7.新年会(1月9日)32名。会費500円 8.ニュースの毎月発行活動。	
--	--	--

3. 会員慶弔福利制度事業

①会員に慶弔がある時は、会員からの申請に基づき随時手続き処理をした。

＜2024年度手続き件数＞

(単位：件)

①結婚祝金	1	⑤銀婚祝金	0
②入学祝金	1	⑥入院見舞金	4
③長寿祝金	7	⑦災害見舞金	0
④銅婚祝金	0	⑧死亡弔慰金	3
		合計	16

4. 新年交礼会事業

5年ぶりに札幌市身体障害者福祉センターで開催した。聴覚障害者の福祉向上の実現に向け、心新たに活動が続けようと親睦と交流を行った。

「2025年新年交礼会」開催

期日：2025年1月11日（土）18：30～20：00

会場：札幌市身体障害者福祉センター

会費：1,500円

参加人数：84名

II 聴覚障害者が参加する各種クラブ活動への助成等

1. 活動助成事業（文化系・スポーツ系・福祉系他）

以下のクラブに対し、活動助成金を支給した。

クラブ名	内容	代表者	会員数
＜文化系＞ 2クラブ			
デフ・フォトクラブ	写真	河村 明子	12名
札幌ろうあ将棋クラブ	将棋	中根 伸一	7名
＜スポーツ系＞ 6クラブ			
S.R.B.C(札幌ろうあボウリングクラブ)	ボウリング	平野井 貴弘	15名
サッポロデフバドミントンクラブ	バドミントン	佐藤 裕介	23名
札幌ろうあパークゴルフクラブ	パークゴルフ	菊地 恒雄	12名
札幌ろうあ者フロアカーリングクラブ	フロアカーリング	水除 弘子	14名

札幌デフ・カーリングクラブ	カーリング	一色 秀和	11名
北海道デフファイターズ	ソフトボール	森 良太	19名
<性別・年齢別系> 1クラブ			
札幌ろうあ老人クラブ	老人親睦	沼澤 一夫	53名
<福祉系> 1クラブ			
重複聴覚障害者と高齢ろうあ者の住宅福祉を考える会「とも」		伊勢谷小枝子	116名

※札幌ろうあ劇団舞夢に関しては申請がないため支給なし。

2. 札幌市視聴覚障がい者文化・スポーツクラブ等助成金交付事業（札幌市）

視聴覚障がい者の社会参加を推進し、その福祉向上を図るため、札幌市内において当該障がい者が自主的に運営する非営利の文化、スポーツクラブ、サークル団体の活動に要する経費の一部を助成するものであり、クラブ代表者会議第13回定例総会において交付対象のクラブを決定した。

（年間3クラブ）

2024年度助成金交付クラブ：デフ・フォトグクラブ

札幌ろうあ者ボウリングクラブ

札幌デフ・カーリングクラブ

3. スポーツ大会開催事業・選手派遣等

（1）全道ろうあ者夏季体育大会への競技団体参加費助成事業

「第56回全国ろうあ者体育大会in千歳」

主催：公益社団法人北海道ろうあ連盟

主管：千歳聴力障害者協会

期間：6月28日（金）～30日（日）

<種目別参加人数（札幌）>※重複参加有

種 目	人数	種 目	人数
ボウリング	13名	フロアカーリング	8名
バドミントン	16名	パークゴルフ	12名
ソフトバレー	11名	合計	60名

（2）全国ろうあ者体育大会への選手派遣事業

「第58回全国ろうあ者体育大会in群馬」

期日：2024年9月12日（木）～15日（日）

主催：一般財団法人全日本ろうあ連盟

主管：一般社団法人群馬県聴覚障害者連盟

第58回全国ろうあ者体育大会群馬県実行委員会

札幌市から13名出場（卓球2名、ボウリング7名、バドミントン4名）

4. 全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技北海道・東北地区予選大会への選手派遣補助金事業

2024年度特別全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技北海道・東北地区予選大会は北海道札幌市で開催のため、なし。

5. クラブ代表者会議及び運営会議

期間：2024年4月～2025年3月（年6回会議開催）

会場：市体障害者福祉センターなど

対象：文化・スポーツクラブの代表者及び担当

（1）クラブ代表者会議

回	日程・時間	主な内容	クラブ出席
1	2024年4月5日（金）	定期総会	9クラブ
2	2024年7月19日（金）	クラブ助成金申請書提出、分担金納金、クラブの報告など	10クラブ
3	2025年2月7日（金）	クラブ助成金支給、事業報告 各クラブより報告	9クラブ

（2）運営会議

回	日程・時間	主な内容	出席人数
1	2024年6月21日（金） オンライン	今後の事業など	3名
2	2024年12月6日（金） オンライン	各事業報告	3名
3	2025年3月31日（金） メール会議	総会の準備、会計について	4名

（3）クラブ代表者会議加入クラブ（2025年3月31日現在）

①文化系3クラブ

②文化系・スポーツ系10クラブ

内4クラブ休部：札幌聾史研究会、札幌ろうソフトバレーボールクラブ

男子バレーボールクラブ、札幌デフフットボールクラブ

【クラブ支援部】

- 1、コロナ禍の影響がなくなりスポーツ・文化活動が活発になってきた。会員の高齢化が進む中、クラブ活動では生涯楽しめる場として年齢に関係なく活躍している会員が増えている。
- 2、デフリンピックの国民認知度の高まりと共にろうスポーツ活動の理解が社会に広まってきた。
- 3、全国ろうあ者体育大会に参加する選手には20代の会員が増えている。今後、選手を引退したときに協会とのつながりをもつため青年部ともパイプを作って盛り上げてほしい。
- 4、現在、課題になっているが、スポーツ選手の引退の理由で協会会員を退会しないように呼びかけを協力していきたい。
その選手が所属している競技団体の役員及び仲間が普段より意思疎通を図って会員を続けてもらうことが重要になる。

Ⅲ 国際友好交流事業の実施

1. 韓国ろうあ者協会大田広域市協会との友好交流事業の実施
3年に一度の開催
今回は、2026年度に札幌市で実施予定。
2. 韓国ろうあ者協会大田広域市協会との友好交流事業の報告会
2024年3月12日（火）～15日（金）、派遣した5名より報告を行った。
期日：2024年8月6日（火）
報告者：渋谷雄幸理事長、若浜ひろ子理事、野口和伸理事、
東出昇監事、金原さとみ職員
参加者：約30名

【他2】各種大会への協力及び支援事業

- I 第23回全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技
北海道・東北地区予選大会

主催：文部科学省・公益財団法人日本パラスポーツ協会
一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会
期間：2024年5月19日（日）
会場：札幌市厚別区体育館

男子2チーム（札幌市、青森県）、女子1チーム（札幌市・北海道合同）の参加があった。試合は男子のみで実施し、結果は青森県が2対0で勝利した。女子は不戦勝となり、第23回全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技への参加権を得た。

【法人関係事業】

法人関係事業

- I さっぽろ夏まつり福祉協賛ビアガーデン（協力）
麒麟ビール（株）様の協力のもと、夏まつり福祉協賛ビアガーデンのビール券を行政や企業、団体、各区支部、クラブ、会員等へ販売普及した。
期間：2024年7月19日（金）～8月14日（水）
会場：大通公園西7丁目（麒麟ビール）
販売枚数：4,130枚

Ⅱ 総会・理事会・委員会・会議等の開催

1. 社員総会開催

「第14回定時社員総会」

期日：2024年5月26日（日）9：45～14：10
会場：市視聴覚障がい者情報センター 大会議室

主な議題：2023年度事業報告及び決算報告、2024年度事業計画及び予算、
規則・規程一部改正

代議員数：71名（開会時）出席：66名（内、委任5含み）
（採決時）出席：66名（内、委任6名含み）

2. 理事会開催

1) 定時理事会

会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	時間	出席理事	出席監事
1	2024年4月20日	18：30～20：35	16名	2名
	4月21日	9：30～15：15	16名	2名
2	5月25日	18：30～20：50	16名	2名
3	6月23日	9：30～16：40	16名	2名
4	8月25日	9：30～16：10	15名	2名
5	10月20日	9：30～15：45	12名	2名
6	12月22日	9：35～16：20	15名	2名
7	2025年2月22日	18：35～20：25	15名	2名
	2月23日	9：35～16：40	16名	2名

2) 臨時理事会

回	月日	時間	出席理事	出席監事
1	4月25日	19：00～20：25	14名	2名
2	11月15日	19：05～21：45	13名	1名

※理事会出欠票は別表P82に記載

3. 三役会議

期間：2024年4月～2025年3月（月1回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2024年4月10日(水)	4名	5	11月7日(木)	4名
2	5月8日(水)	4名	6	12月4日(水)	4名
3	6月12日(水)	4名	7	2025年2月5日(水)	4名
4	10月2日(水)	4名			

時間：19：00～21：00

出席：渋谷雄幸理事長、高嶋正博副理事長、中和彦副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長

内容：理事会で確認された事項の取り組みについて経過報告、次回理事会の議題、報告とする事項の確認、整理をおこなった。

4. 経営会議

期間：2024年4月～2025年3月（月1回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2024年4月24日(水)	7名	7	10月23日(水)	7名

2	5月22日(水)	6名	8	11月11日(月)	7名
3	6月26日(水)	7名	9	11月27日(水)	7名
4	7月24日(水)	5名	10	2025年1月22日(水)	7名
5	8月7日(水)	7名	11	2月26日(水)	7名
6	9月25日(水)	7名	12	3月26日(水)	7名

時間：19：00～21：00

出席：渋谷雄幸理事長、高嶋正博副理事長、中和彦副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、渋谷梯子コミュニケーション支援課長、荒井友理聴覚障害者支援センター長、樋口あやこさっぽろ聴覚障害者介護支援センター長

内容：各事業の事項及び人事について事項の確認等を行った。

5. 職員会議・研修

日時：11月16日（土）15：00～18：00

会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター

内容：講演「事業の理念」 講師 理事長 渋谷雄幸 氏

6. 三団体懇談会

構成：札幌協・札幌連・札幌研

期間：2024年4月～2025年3月（月1回・第3火曜日開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2024年4月16日	5名	7	11月19日	7名
2	5月21日	7名	8	12月17日	8名
3	6月18日	5名	9	2025年1月21日	8名
4	7月16日	8名	10	2月18日	8名
5	9月17日	7名	11	3月18日	8名
6	10月15日	4名			

札幌協：中和彦副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、若浜ひろ子理事、越智理事、泉理事

札幌連：宮本英行会長、高橋登志子副会長、久保田昭人事務局長、平光和之事業部次長

札幌研：太田利実副運営委員長、佐藤薫事務局長、渋谷梯子事務局次長、佐藤圭祐事業部長、樋口あやこ会計部長、

各団体の会員数、事業のお知らせ、活動状況報告、札幌市手話言語条例、研修センター後援会協力や取組みのお願いなど情報交換や日聴紙、札幌紙の購読者および手話研修センター後援会員の拡大の意見交換を深めている。

7. 一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会

① 2024（令和6）年度定時総会（書面決議・書面報告）

日時：5月15日(水)15：00～

場所：札幌市身体障害者福祉センター

出席：理事長 渋谷雄幸（（一社）札幌市障がい者スポーツ協会理事）
正会員団体代表の代理 常務理事 京野大樹

② 2024（令和6）年度理事会

日時：第1回 2024年4月23日（火）15：00～

第2回 2024年5月15日（水）

第3回 2025年3月27日（木）15：00～

出席：理事長 渋谷雄幸（（一社）札幌市障がい者スポーツ協会理事）

8. 札幌市障がい者によるまちづくりサポーター制度会議

日時：①2024年 9月5日（木） 14：00～16：00

②2024年11月26日（火） 14：00～16：00

③2025年3月14日（金） 14：00～16：30

場所：札幌市役所

委員：構成人数 11名（すべて札幌市民）

出席：森恵子理事

内容：第9期で会議はほぼ対面でオンライン（1名）の両方で行われた。

担当より活動内容のテーマ、サブテーマが提案されたが、代表及び副代表が各サポーターより提出された事項をパソコンで分類（カテゴリ）し、二項軸にマッピングしながら話し合いをした。

「災害」という方向でまとめたが、時間が足りず、次回の会議に継続となる。

9. 札幌市障害者社会参加推進協議会

日時：2024年9月13日（金）13：00～

場所：札幌市身体障害者福祉センター

出席：高嶋副理事長

内容：障害者週間記念事業について、障害者の社会参加推進に向けた活動事例について、情報交換

10. 障がい者コミュニケーション促進委員会

日時：2024年11月11日（月）14：00～

場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター

出席：京野大樹常務理事兼事務局長（代理）

出席団体：札幌手話通訳問題研究会、札幌盲ろう者福祉協会、札幌市視覚障害者福祉協会、札幌市手をつなぐ育成会、札幌市中途失聴・難聴者協会、北海道自閉症協会札幌分会札幌ポプラ会、札幌学院大学、札幌市身体障害者福祉協会、札幌市精神障害者家族連合会、日本ALS協会北海道支部、要約筆記通訳者サークルふきのとう

11. その他

（1）北海道札幌聾学校 学校評議員会

趣旨：校長の求めに応じて、学校の教育目標及び計画、教育活動の実施、学校と地域との連携の進め方その他、校長が行う学校運営に関し、一人一人がそれぞれ責任において、校長に対し意見を述べる。

日時：第1回 2024年6月24日（月） 10：00～12：00

第2回 2024年10月30日（水） 10：00～12：00

第3回 2025年2月5日（水） 10：00～12：00

場所：北海道札幌聾学校

出席：公益社団法人札幌聴覚障害者協会理事長 渋谷雄幸

北区北地区民生委員・児童委員協議会副会長 渥美健治
北24条商店街振興組合理事長 小泉詔信
札幌聾学校同窓会長 杉本五郎
北海道札幌聾学校PTA会長 只石亜由美
札幌医科大学医学部教授 高野賢一
放課後デイサービスふくろう管理者 船山大介
北海道警察札幌方面北警察署生活安全課長 佐藤信太郎
北海道札幌北高等学校長 佐賀 聡
学校職員:校長 四木定宏

(2) 慶弔事業

北区支部創立50周年記念事業

日程: 7月7日(日) 会場: 札幌サンプラザ

出席: 渋谷雄幸理事長

西区支部創立50周年記念事業

日程: 7月21日(日) 会場: 札幌ホテルヤマチ

出席: 高嶋正博副理事長

(3) 札幌新星ライオンズクラブ

札幌新星ライオンズクラブのチャリティゴルフ大会表彰式に出席し
目録贈呈をいただいた。

日程: 9月20日(金) 会場: 札幌南ゴルフクラブ 駒岡コース

出席: 渋谷理事長、京野常務理事兼事務局長

内容: 札幌ろうあ者文化祭典、耳の日市民のつどい、
物品(聴覚障害者グループホームさくら、ほほえみ手稲)

(4) 第11回いっしょにね!文化祭

主催: 特定非営利活動法人三角山、北翔大学

日程: 10月5日(土) 会場: 北翔大学 円山キャンパス

内容: ステージ発表(手話体験)

出展(ミニ手話教室、活動紹介、菓子製造作業紹介)

実行委員会: 7月6日、8月8日、9月12日

打合せ: 9月24日 リハーサル: 10月4日

協力: 札サ連、札通研

(5) 募金活動「チャリティ出前講座」

協会の安定した運営資金作りのため、札サ連、札通研に協力依頼した。

(日にち)

(手話サークル)

(派遣)

2024年10月3日 西区手輪の会

若浜ひろ子理事

10月23日 N・S・G手話サークル

森恵子理事

11月14日 北区手輪の会

京野大樹常務理事兼事務局長

11月21日 西区手輪の会

佐藤尚行理事

2025年1月17日 手話サークル北斗星

若浜ひろ子理事

1月25日 道庁手話サークル

金原浩之理事

1月30日 南区手輪の会

宮内博子理事

Ⅲ 人事(採用・異動・退職)報告

【2024年4月1日～2025年3月31日】

法人事務局
みやもと まちこ 宮本眞知子 (2024年4月1日付身分変更 常勤嘱託職員→正職員) (2024年4月1日付任命 電話リレーサービス係長) かさい ゆみこ 葛西由美子 (2024年4月1日付採用 電話リレーサービス 非常勤嘱託職員) (2025年3月31日付退職) こじま 小島そのみ (2024年5月13日付採用 法人事務局 非常勤嘱託職員) もりさき 森咲 (2024年8月30日付退職) きよはら まみ 清原麻美 (2024年12月12日付退職)
コミュニケーション支援課
聴覚障害者支援センターほほえみ
かしわざき ひろこ 柏崎弘子 (2024年4月1日付身分変更 常勤嘱託職員→非常勤嘱託職員) (2025年3月31日付退職) たけだ ようこ 武田葉子 (2024年7月11日付採用 ほほえみカフェ 非常勤嘱託職員) たかはし かずよ 高橋一世 (2024年8月1日付採用 ほほえみカフェ 非常勤嘱託職員) (2024年8月6日付退職) えんどう ちえ 遠藤智恵 (2025年1月14日付異動 菓子工房ほほえみ→ほほえみ作業所) かがわ ちづる 香川千鶴 (2025年1月31日付退職) さと うまさあき 佐藤正昭 (2025年2月28日付退職) かどわき むつみ 門脇睦 (2025年3月31日付退職) かんの かおり 菅野香 (2025年3月31日付退職) おおしま まさひろ 大島正博 (2025年3月31日付退職)
さっぽろ聴覚障害者介護支援センター
ほりうち けいた 堀内啓太 (2024年4月1日付身分変更 非常勤嘱託職員→常勤嘱託職員) (2025年2月1日付異動 ほほえみ作業所) せ と よしの 瀬戸嘉乃 (2024年9月30日付退職) ながいく みこ 長井久美子 (2024年12月1日付採用 ほほえみ手稲・非常勤嘱託職員) おおしま 大島まゆみ (2025年1月20日付退職) なかむら ちえ 中村千恵 (2025年2月1日付異動 ほほえみ手稲) (2025年2月28日付退職) じんあや 神文 (2025年2月1日付異動 ほほえみ手稲) さと うまさあき 佐藤正昭 (2025年2月1日付異動 ほほえみ作業所) むらかみ まり 村上麻里 (2025年2月1日付異動 勤医協札幌病院手話通訳室) やまむら あいこ 山村愛子 (2025年3月31日付退職)

※職員等体制について

(85名(常勤・アルバイト・非常勤契約含む) 2025年4月1日現在)

- ① 法人事務局(手話普及事業・情報支援事業) (12名)
事務局長1名、事務局次長(介護支援センター長兼務) 1名、職員9名
計11名(正職員4名、定年再任用常勤嘱託2名、常勤嘱託3名、非常勤嘱託2名)
聴能言語訓練指導員(非常勤契約) 1名
- ② コミュニケーション支援課(手話通訳派遣事業係(医療手話通訳者派遣事業含む)、養成事業係) (26名)
課長1名、係長2名、職員12名、アルバイト11名 計26名(定年再任用正職員1名、正職員2名、定年再任用常勤嘱託2名、非常勤嘱託10名、アルバイト11名)
- ③ 聴覚障害者支援センターほほえみ (26名)
 - ㊦聴覚障害者地域活動支援センター(ほほえみ西)
所長1名、職員2名 計3名(常勤嘱託2名、非常勤嘱託1名)
 - ㊧ほほえみ作業所 就労継続支援B型事業(ほほえみ作業所)
所長1名、職員5名、アルバイト1名 計7名(正職員2名、常勤嘱託1名、非常勤嘱託3名、アルバイト1名)
 - ㊨ほほえみカフェ(就労継続支援B型事業(ほほえみカフェ、菓子工房ほほえみ))
センター長1名、職員6名、アルバイト2名 計9名(正職員1名、定年再任用常勤嘱託1名、常勤嘱託1名、非常勤嘱託4名、アルバイト2名)
 - ㊩共同生活援助事業(グループホームよつば・さくら)
職員4名、アルバイト3名 計7名(正職員1名、非常勤嘱託3名、アルバイト3名)
- ④ さっぽろ聴覚障害者介護支援センター (22名)
 - ㊦小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲
所長1名、職員12名 計13名(正職員5名、常勤嘱託2名、非常勤嘱託6名)
 - ㊧サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷
センター長・所長(※事務局次長兼務) 1名、アルバイト7名 計8名(正職員1名、アルバイト7名)
 - ㊨ほほえみの郷・ほほえみ手稲
施設長1名 計1名(常勤役員1名)

別表【理事会出欠表】

役職	氏 名	1		臨時	2	3	4	5	臨時	6	7	
		4/ 20	4/ 21	4/ 25	5/ 25	6/ 23	8/ 25	10/ 20	11/ 15	12/ 22	2/ 22	2/ 23
理事長	渋谷 雄幸	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
副理事長	高嶋 正博	出	出	出	出	出	欠	出	出	出	出	出
副理事長	中 和彦	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
常務理事	京野 大樹	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	越智 誠	出	出	出	出	出	出	欠	出	出	欠	出
理事	若浜ひろ子	出	出※	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	森 恵子	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	佐藤 正昭	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	宮内 博子	出	出	出	出	出	出	欠	出	欠	出	出
理事	金原 浩之	出	出	欠	出	出	出	出	欠	出	出	出
理事	泉 隆行	出	出	欠	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	福岡 静枝	出	出	出	出	出	出	欠	出	出	出	出
理事	野口 和伸	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	佐藤 尚行	出	出	出	出	出	出	欠	欠	出	出	出
理事	新田 由香	出	出	出	出	出	出	出	欠	出	出	出
理事	佐藤 英治	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
監事	東出 昇	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出
監事	福島 太郎	出	出	出	出	出	出	出	欠	出	出	出

出：出席・欠：欠席・※の印は遅参・早退